

Marshall

AMPLIFICATION

Players Roll of Honour



“何度も言ってきたことだが、くりかえし言おう。他のも試してみようなんて気は起こすなよ—こんな大物には逆らったりしないことだ”
- Slash



“マーシャルのサウンドは、ダントツだ。これぞ王様。他のどのアンプも真似できないうなりをあげる”
- Jeff Beck



“Marshallって書いてあったら買っちゃまいな。試す必要なんかありあしねえ。いいに決まってるんだよ”
- Lemmy / Motorhead



“マーシャルは、繊細でありながら、鉛のように重く、銅のように固い。すばらしいよ”
- Billy F Gibbons / ZZ Top



“おれのマーシャルは、叫ぶようなラウド・トーンから、クリーンで温かい、ベースのきいた美しいサウンドへビックアップ・セクターひとつで切り替えられる”
- Paul Weller



“秘密兵器は何かって？ そうだな、馬鹿デカイ(笑)音のマーシャルだろうな。とにかく俺がやっていることにピッタリなんだ”
- Dave Murray / Iron Maiden



“他のヤツもみんな試した…いつでも一番のヤツにもどってくる…”
- Janick Gers / Iron Maiden



“マーシャルは業界一のロックンロール・アンプだ。1962年の誕生以来ずっとトップを走り続けている”
- Ace Frehley / KISS



“いろんなメーカーのアンプを試して出した結論は、「最高のロック・アンプはマーシャル100ワット・スタックだ」ということだ”
- Angus Young / ACDC



“トーンが鳴り響き、そしてそれが納得いくものである時、俺は生きていることを実感する。だからマーシャルを使っているんだ”
- Dave Mustaine / Megadeth



“最良の音質でスポンをはためかせるパワーを持っているのがマーシャルだ”
- Mani



“Vintage Modernはまったくスゲエ。このサウンドを30年以上探していたんだ！驚きのアンプだぜ！”
- Doug Aldrich / Whitesnake



“マーシャルは、他のものとまったくちがう。サウンドを耳で聞いただけじゃなくて、体で感じるんだ！”
- Gary Moore



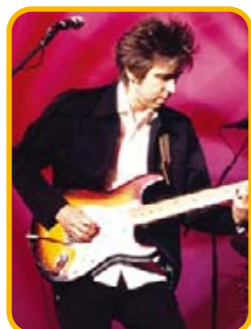
“プラグインしてビンテージ天国に浸れば、もうそれ以上言うことはない”
- Mick Box / Uriah Heep



“19年間ギターを弾いてきて、その間ずっとマーシャルを使ってきた…他のアンプを使う理由はひとつも見つからない”
- Steph Carpenter / Deftones



“世界中で教え切れないミュージシャンがマーシャルを使っている。だから悪いワケがない。だろ？”
- KK Downing / Judas Priest



“他のヘッドを試すときだって、マーシャルの4X12に通しているよ。マーシャル・アンプは僕のトーンに不可欠なものだ。アンプの世界に計り知れないほど貴重な貢献をして、ギター・サウンドの可能性を大きく広げたジム・マーシャルに感謝している”
- Eric Johnson



“88年にオジーとやり始める前からずっとマーシャルJCM800を使ってきた。他のアンプも試してみたけどいつもマーシャルにもどってくる。ジム・マーシャルは勝利の男だ。マーシャル軍を構成するプレイヤーのひとりであることを誇りに思うよ”
- Zakk Wylde



“JVM210Hを弾くときに必要なもの、お気に入りのギター、1960BV、ケープル…あとは何もいらぬ。以上”
- Matthew Kiichi Heafy / Trivium



“スモール・アンプ、ビッグ・ボーズ！”
- Bjorn Gelotte



“俺がマーシャルを使っているのは、こいつがとにかく最高で、他のものはその足にも及ばないからだ。まったく比喩にならない。俺はマーシャルを使う。これに勝るものはない”
- Kerry King / Slayer



“25年前にマーシャルにプラグインした。はじめてのクランチから最近のリード・サウンドまで俺のすぐ後ろにはいつでもたっくさんのマーシャルがいてくれた。イミテーションは山ほどあれど結局残るのはひとつだけだ…それがマーシャルだ！”
- Yngwie Malmsteen



“マーシャルのおかげで、以前フロアで使っていたエフェクターの半分は要らなくなった。古いディストーションやブーストのペダルは、誰かにあげると喜ばれるよ”
- Dave Navarro / Jane's Addiction



“初めての100Wマーシャル・スタックを60年代に買って以来、これと勝負できるものを見たことがない。マーシャルこそが僕のサウンドだ。ザ・ハードヤハンブルパイから今日にいたるまで、ずっとそうだった。僕は死ぬまでマーシャルだ！”
- Peter Frampton

JVM4 Series

その名にジム(J)とビクトリア(V)の名前を冠したマーシャルJVMシリーズ。それはこのシリーズが次世代マーシャルを牽引するフラッグ・シップ・モデルという証です。開発にあたりマーシャルが目指したのは、「フル・バルブ回路でマルチ・チャンネル、クリスタル・クリーン・トーンから、今までのマーシャルでは聞いたこともない最強のディストーションまでをカバーし、しかも柔軟性に富み、かつ最新のテクノロジーを有する最強のアンプ」というものでした。もちろんそのサウンドは伝統のマーシャル・サウンドでなければなりません。これら高いハードルをクリアしたのがこのJVMシリーズです。そして、その開発に当たり最も大切なゴールは「出来る限りシンプルに、そしてユーザー・フレンドリーに」ということでした。

JVM410H & JVM410C

JVMの開発段階において、まず参考にされたモデルが2203と1959プレキシでした。それらは長きにわたり世界中の多くのギタリストに支持され続けているサウンドです。そのサウンドをベースにして改良、進化を加え過去最強のディストーションを実現し、それらすべてのサウンドを1台に盛り込んだのがJVMです。JVMの魅力はサウンドバリエーションだけでなく、今日のギタリストに必要な機能をすべて搭載しています。滅多につかわない機能は一切排除したシンプル設計であるため音がいいのです。4チャンネル・モデル(JVM4)では100Wヘッドと2x12"コンボをラインナップしました。



ロジカルなレイアウトのフロント・パネル

JVM4にはトーン・キャラクター異なる4つのチャンネルが搭載されています。そしてそれぞれのチャンネルはゲインの低い順にグリーン、オレンジ、レッドの3つのモードで構成されています。つまり、JVM4の場合には4チャンネルx3モードで12通りのサウンドを出すことができるのです。それはあたかも4台のTSLが1台のアンプに詰まったような構造です。そしてそのサウンドはどこまでも澄み切った究極のクリーン・サウンド(クリーン・チャンネル/グリーン・モード)から驚異のディストーション・サウンド(OD/レッド)までを網羅しています。

Clean: ゲイン・ステージをトーンコントロールの後に配置して作り出すよどみのない余裕のクリーンを演出するグリーン・モードから、1959をオーバードライブさせたようなレッド・モードまでシンプルにしてピュアなサウンドが魅力のチャンネルです。

Crunch: グリーン・モードでは1959プレキシのサウンドを、オレンジ・モードでは2203系の歪みを、そして、レッド・モードではギタリスト垂涎の激歪み2203のサウンドを実現します。そして、ギターのパボリュームをしばってみてください。何物にも替えがたい極太のクリーンサウンドが飛び出します。

OD1: 今まで発表されたマーシャルのオール・バルブ・ハイ・ゲイン・アンプのサウンドを思い起こしてください。例えばJCM2000シリーズ。そして、それにディストーションが加わったサウンドを想像してください。このコシの強い歪み!これほど歪んでもビッキングニュアンスを出すことができるのはマーシャルの大きな特長です。

OD2: OD1に若干ゲインを加え、トーン・ネットワークを組み替えド迫力のドンシャリ系サウンドをクリエイトします。これが新しいマーシャルのサウンド。マスター・セクションのRESONANCEと組み合わせるとセッティングすれば最高のヘヴィネス・サウンドを出すことができます。

仕様	JVM410H	JVM410C
ブリ管	ECC83 x 4	ECC83 x 4
パワー管	ECC83 x 1, EL34 x 4	ECC83 x 1, EL34 x 4
実効出力	100Wms	100Wms
スピーカー	—	Celestion Vintage x 1, Heritage x 1
サイズ(mm)	750W x 310H x 215D	690W x 510H x 265D
重量(Kg)	22	34.5



究極のフットコントロール機能と柔軟な接続機能

JVM4の6ウェイ・フルプログラマブル・フットスイッチは、フロント・パネルのスイッチをフットスイッチに割り当てたり、Channel、Mode、Reverb、Loop、Master Volumeのセッティングを記憶させたりできます(各コントロールの値は記憶できません)。チャンネルの切り換えもなめらか!また、搭載されたLEDにより、演奏中でもJVMの状態を確認できます。通常のギターケーブルで接続できるため、使用する環境に合わせてフットスイッチを配置することができます。



JVM410H
100W 4ch DIGITAL REVERB VALVE AMP HEAD

JVM410C
100W 4ch 2x12 DIGITAL REVERB VALVE AMP COMBO

FRONT PANEL FUNCTIONS

Clean ch: VOLUME, BASS, MIDDLE, TREBLE, GAIN, CLEAN MODE SW
Crunch ch: VOLUME, BASS, MIDDLE, TREBLE, GAIN, CRUNCH MODE SW
OD1 ch: VOLUME, BASS, MIDDLE, TREBLE, GAIN, OD1 MODE SW
OD2 ch: VOLUME, BASS, MIDDLE, TREBLE, GAIN, OD2 MODE SW
Master: MASTER 1, MASTER2, PRESENCE, RESONANCE, MASTER SW
Reverb: REVERB CLEAN, REVERB CRUNCH, REVERB OD1, REVERB OD2, REVERB SW
Clean/Crunch/OD1/OD2 ch共通: FOOTSWITCH / MIDI PROGRAM SW, FX LOOP SW

REAR PANEL FUNCTIONS

Serial / Parallel FX Loop: SEND, RETURN, FX LEVEL SW (+4/-10dB), MIX CONTROL
Power Amp Insert / Serial Loop: PRE-AMP OUT / SEND, POWER AMP IN / RETURN, BYPASS / ACTIVE SW
Loudspeaker Output: 16Ω専用OUT x 1, 1 x 4Ω / 2 x 8Ω, 1 x 8Ω / 2 x 16Ω
Others: EMULATED LINE OUT x 1, MIDI IN, MIDI thru
Foot Controller: PEDL10044 x 1 (付属)



スタジオ・クオリティのリバーブ

JVMには各チャンネルに独立してセッティングすることができるデジタル・リバーブを搭載しました。ナチュラルで味わい深いリバーブ・サウンドをクリエイトします。リバーブのオン/オフはフロント・パネルの他、付属のフットスイッチで制御可能です。

魅力のマスター・セクション

マスター・ボリュームは2つ。フロント・パネルの他、フットスイッチで切替が可能です。例えばマスター・ボリューム2のレベルをゼロにしておけばミュートの役割を果たしますし、1より2の方をラウドにセッティングしておいてソロの時にブーストさせる等使い方はアイデア次第です。プレゼンスはおなじみの超域のコントロール。レゾナンスは超領域。低音に厚みを加え超域のヘヴィネス・サウンドを演出します。



パラレル&シリアル・ループ併載



JVMにはフロント・パネルとフットスイッチでオン/オフ可能なパラレル・ループとバイパス可能なシリアル・ループを搭載しました。オン/オフする必要があるエフェクターはパラレル・ループ回路へ、入れっぱなしにするエフェクターはシリアル・ループ回路に接続します。
 *パラレル・ループにエフェクターを接続しない状態でMIXをフルWETにし、LOOPをオンにするとアンプから音が出なくなりますのでご注意ください。

便利なMIDI

「MIDIが付いていけばいいのに!」TSL発売時にはMIDIに関するたくさんのリクエスト頂戴しまし



た。そしてそのリクエストにお応えしたのがJVMです。また、MIDIペダルを使用すればチャンネル/モード、リバーブのオン/オフ、マスター・ボリューム1/2、パラレル・ループのオン/オフの組み合わせを最大128通りまでJVM本体に記憶させコントロールすることができます。



迫真のDIサウンドが得られる、サイレント・レコーディング機能

これが宅録ファンの皆様には重宝がられること必至のJVM自慢のエミュレイテッド・ライン・アウトです。この4x12"キャビネットさながらの生々しいサウンドにはアンプ・シミュレーターはもう必要ないでしょう。キャビネットとの結線なしでも使用することができます。また、ライブ・ステージではキャビネットのマイキング音とこのライン・アウト信号をミックスしてPAサウンドを分厚くすることができます。

コンボのスピーカー仕様

JVM4のコンボJVM410CにはCelestionの異なるタイプの12インチ・スピーカーを搭載し、Heritageでパンチを、Vintageでウォームさを出し、コンボとは思えないバランスのとれた深みのあるラウドなサウンドを実現しました。

JVM2 Series

JVM2シリーズは、JVM4シリーズが持つ多様性、トーンとパワーを受け継ぎ、JVM4が世界的成功を成し得ることとなったその柔軟性とサウンドの良さをそのままに、一切の妥協無しに設計されました。JVMシリーズはその開発時から、全てのギタリストの要望に1台で応えるアンプを作ることがゴールでした。JVM2シリーズは2チャンネル×3モード仕様でその幅広いサウンドを表現します。またリクエストにお応えして、3種類のコンボをラインナップしました。使用するシーンに合わせてチョイスしてください（リア・パネル上の機能はJVM4と同一です）。

JVM210H & JVM205H

JVM2シリーズは2チャンネル仕様でそれぞれに3つのモード（グリーン/オレンジ/レッド ※P3参照）、つまり2チャンネル×3モード=6つのサウンドが仕込まれています。

前項のJVM4の12のサウンドはどれも捨てがたいものですが、JVM2の開発に当たっては特に実用的なサウンドやマーシャルの伝統的なサウンド、そして、現在の音楽シーンに一石を投じるアグレッシブなサウンドを網羅することとなりました。

そのチャンネルとは：

Clean/Crunch：JVM4のクリーン/グリーン、クランチ/オレンジ、クランチ/レッドの3モード。こちらのチャンネルでは澄み切ったクリーンから伝統的なマーシャル・クランチ、そして、2203系の図太い野生的なディストーションを得意とします。

OD：JVM2のODはJVM4のOD2チャンネルに相当します。このマーシャル・フルバルブ・モデル史上最強のディストーションが創造を絶するヘヴィ・サウンドを演出します。

JVM2 ヘッドには100Wモデル（JVM210H）のほか50Wバージョン（JVM205H）もご用意しました。JVM205HはJVM210Hと比べると、ただ単に出力が小さいだけでなく、他のシリーズ同様50W特有のまとまったサウンドが身上です。使用するシチュエーションだけでなく、そのサウンドの違いも選択の対象となります。（JVM210HとJVM205Hは出力のみ異なり、その他の機能は同一です）



JVM210C

100W、2チャンネル・コンボのJVM210CはJVM410Cのシンプル・バージョンであると同時にJVM210Hのコンボ・バージョンでもあります。100Wかつ2×12"のコンビネーションが迫力のサウンドをクリエイトします。

2×12"にはCelestionの異なるタイプのスピーカーを搭載し、Heritageでパンチを、Vintageでウォームさを出しコンボとは思えないバランスのとれたラウドなサウンドを実現しました。



JVM215C

シリーズ最小のコンボです。お試しになった途端、全身を篩わせて鳴りまくるJVM215Cに「これで50Wか?!」と驚かれることでしょう。JVMの機能をふんだんに詰め込んで可搬性にも優れたコンボアンプの優等生です。

この1×12"コンボにはCelestion G12Bを採用し50Wでは破格の低音の鳴りを実現しています。



JVM205C

JVM210Cの50Wバージョンで、JVM205Hのコンボ・バージョンでもあるJVM205Cは、100Wではラウド過ぎるが2×12"サウンドの分厚さが欲しいという方に最適なモデルです。



JVM2のフットコントローラーは4ウェイ。機能はJVM4用のフットコントローラーと同一です。（P4参照）



FRONT PANEL FUNCTIONS

Clean / Crunch ch: VOLUME, BASS, MIDDLE, TREBLE, GAIN, CLEAN / CRUNCH MODE SW

Overdrive ch: VOLUME, BASS, MIDDLE, TREBLE, GAIN, OVERDRIVE MODE SW

Master: MASTER 1, MASTER 2, PRESENCE, RESONANCE, MASTER SW

Reverb: REVERB CLEAN / CRUNCH, REVERB OD, REVERB SW

Clean/Crunch, Overdrive ch共通: FOOTSWITCH / MIDI PROGRAM SW, FX LOOP SW

REAR PANEL FUNCTIONS

Serial / Parallel FX Loop: SEND, RETURN, FX LEVEL SW (+4/-10dB), MIX CONTROL

Power Amp Insert / Serial Loop: PRE-AMP OUT / SEND, POWER AMP IN / RETURN, BYPASS / ACTIVE SW

Loudspeaker Output: 16Ω専用OUT x 1, 1 x 4Ω / 2 x 8Ω, 1 x 8Ω / 2 x 16Ω

Others: EMULATED LINE OUT x 1, MIDI IN, MIDI thru

Foot Controller: PEDL10045 x 1 (付属)

仕様	JVM210H	JVM205H	JVM210C	JVM205C	JVM215C
プリ管	ECC83 x 4	ECC83 x 4	ECC83 x 4	ECC83 x 4	ECC83 x 4
パワー管	ECC83 x 1, EL34 x 4	ECC83 x 1, EL34 x 2	ECC83 x 1, EL34 x 4	ECC83 x 1, EL34 x 2	ECC83 x 1, EL34 x 2
実効出力	100Wrms	50Wrms	100Wrms	50Wrms	50Wrms
スピーカー	—	—	Celestion Vintage x 1, Heritage x 1	Celestion Vintage x 1, Heritage x 1	Celestion G12B x 1
サイズ(mm)	750W x 310H x 215D	750W x 310H x 215D	690W x 510H x 265D	690W x 510H x 265D	605W x 510H x 265D
重量 (Kg)	22	17.5	34.5	29.5	26.5

Vintage Modern Series

ビンテージ・モダン、なによりも自らのギターとテクニックでサウンドをコントロールしたい感情豊かなプレイヤーのために設計されました。60年代半ばから70年代初頭にかけてのビンテージ・サウンドをもつこのモデルは、さらにモダンなサウンドをもとめるプレイヤーにも応える歪みをも実現します。構造がシンプルだけに、ダイナミック・レンジの広さ、レスポンスの早さ、そしてピッキング・ニュアンスの再現能力は驚異的で、ギター本来のトーンを再現できるアンプの最高峰と言えます。またマスター・ボリューム、デジタル・リバーブやシリーズ・ループというモダンな機能、そして通常のビンテージ・アンプでは実現できない歪みまでも得られることが「ビンテージ・モダン」の名前の由来なのです。

ベスト・マッチのスピーカー・キャビネットは100W仕様で、Celestion製のG12C-25が4本搭載されています。これはSUPER100JH（ジミ・ヘンドリックス・モデル）にも搭載されていたスピーカーで、ビンテージ・サウンドの特徴であるふくよかな中域を再現するために開発されたものです。

2466B & 425ABL/BBL



ビンテージ・モダンはビンテージ・トーンの魅力とコンテンポラリーなアンプの利便性を徹底的に追求したギタリスト垂涎のシリーズです。

使用されているパワー管は、かつて「真空管のロールス・ロイス」とも呼ばれ、1966年あたりまで使用されたものの、その後供給不安定でマーシャルでは使用が中止されたKT66です。低域のレスポンスがタイトでミッドレンジがクリア、暖かみがあり、ヌケがよく、とにかくズ太いビンテージ・トーンを実現します。また、プリ管にはECC83を4本搭載。これによりゲイン・ステージを増やし、より歪むビンテージ・ディストーション・サウンドを生み出すのです。

2266B & 425ABL



仕様	425ABL	425BBL
スピーカー	Celestion G12C-25 x 4	Celestion G12C-25 x 4
許容入力	100Wrms	100Wrms
インピーダンス	8Ω/8Ω: STEREO 16Ω/4Ω: MONO	8Ω/8Ω: STEREO 16Ω/4Ω: MONO
サイズ(mm)	770W x 755H x 365D	770W x 755H x 365D
重量 (Kg)	36	37



プリ・アンプ・ボリューム

このアンプの特長でもある2つのコントロール（プリアンプ・ボリューム）、それがディテイルとボディです。使用するギターでセッティングが異なりますが、アンプで深いディストーションを得るのであれば大きめに設定します。（ただし、フルテンにすることはおすすめしません）その特長は◆**ディテイル**：中音域から高音域までを調整、トーンの輪郭を作り、ギター・サウンドのアイデンティティを決めます。◆**ボディ**：中音域から低音域までを調整、トーンに厚みと重みを加えます。例えばシングル・コイルのピックアップから、高音域のディテイルを失わずにハムバッカーのような低音域を引き出せます。これらはちょうど、4インプットのビンテージ・アンプにおける“チャンネル・リンク”のような動きをします。使用するギターの基本的な音質に合わせてスイート・スポットを定めてください。ここでベーシックな音質を決定し、あとはトレブル、ミドル、ベースで微調整をすればよいでしょう。

ダイナミック・レンジ

ビンテージ・モダンの大きな特長のひとつがダイナミック・レンジです。ハイとローを切り替えることによってプリ管を制御し、基本的なトーン・キャラクターを決定します（付属のフ



トスイッチで切替可）。◆**ハイ（ホワイトLED）**では耳を疑うかのような分厚いディストーションを生み出します。このモードではギターのボリュームを下げることで通常のクリーン系アンプでは決して得られない厚みのある枯れたクリーン・サウンドも出すことができます。また、ギターのボリュームを駆使することによりトーンも含めて千変万化のサウンドが得られます。まさにギターがビンテージ・モダンのサウンド・コントローラーになったかのようなのです。◆**ロー（ブルーLED）**では図太いクリーン〜ヘヴランチ・サウンドをクリエイトします。バックアップでクリーン系サウンドを、そしてソロの時に瞬時にディストーション・サウンドを出したいという方には、ダイナミック・レンジをローに設定し、歪み系のエフェクターをお使いになることをおすすめします。そうして得られる図太くレスポンスの鋭いディストーション・サウンドは驚異的です。それはビンテージ・モダンの原音がファットでしっかりしているからです。

ミッド・ブースト

シングルコイル系のギターの場合、**ミッド・ブースト**をオンにすることによってさらにファットなトーンを生み出すことができます。

◆VintageModernは1チャンネル回路です。したがって、ボリュームやトーンはダイナミック・レンジ毎にセッティングすることはできません。

リバーブ

リバーブはフットスイッチでオン/オフがコントロール可能です。ビンテージ・モダンはスプリング・リバーブに比べトラブルが少ないデジタル・リバーブを採用しました。そのナチュラルなリバーブ音はスタジオ・ユース・レベルです。

ループ

さらにモダンな機能のひとつとして、シリアル・ループ回路を搭載しました。これによりアンプの極上の歪みを使って空間系エフェクターを使用することができます。また、センド・リターンを利用しない場合、BYPASSに設定すればセンド・リターン回路をバイパスさせることができます。

スピーカー・キャビネット

ビンテージ・モダンには専用スピーカー・キャビネットが用意されています。ビンテージ・トーンのカギは音の中域が握っています。それを活かすためには専用のキャビネットが必要だったのです。最終的に音を出しているのはスピーカー・キャビネットですから...。そうして開発されたのがCelestion G12C-25スピーカーを4本搭載した425 キャビネットです。トーンはもちろんのこと、レスポンスの早さやダイナミックレンジの広さ等ビンテージ・モダンの特長を100%活かしてくれます。425はAタイプとBタイプのもつ特徴が顕著に表れますので（P.023参照）好みの音質を確かめた上でお選びください（2266CBにも同じスピーカーが搭載されています）。

2266CB



2466B

100W DIGITAL REVERB VALVE AMP HEAD



2266B

50W DIGITAL REVERB VALVE AMP HEAD



2266CB

50W DIGITAL REVERB VALVE AMP COMBO

425ABL/ BBL

4X12 SPEAKER CABINET ANGLED TYPE / BASE TYPE

FRONT PANEL FUNCTIONS

Function: REVERB, MASTER VOLUME, PRESENCE, BASS, MIDDLE, TREBLE, DYNAMIC RANGE SW (LOW/HIGH), MID BOOST SW, PRE-AMP VOLUME (DETAIL/BODY), INPUT

REAR PANEL FUNCTIONS

Function: FOOTSWITCH JACK
Effect Loop: SEND/RETURN JACK, EXT FX SW (-10dB/+4dB, BYPASS/LOOP)
Outputs: SPEAKER OUT X 2
Others: OUTPUT SELECT SW (8/16Ω)
Footswitch: PEDL10041 (付属)

仕様	2466B	2266B	2266CB
プリ管	ECC83 x 4	ECC83 x 4	ECC83 x 4
パワー管	KT66 x 4	KT66 x 2	KT66 x 2
実効出力	100Wrms	50Wrms	50Wrms
スピーカー	—	—	Celestion G12C-12 x 2
サイズ(mm)	750W x 310H x 230D	750W x 310H x 230D	690W x 570H x 270D
重量 (Kg)	22.5	18	30



マーシャル公式ウェブサイトでサンプル・サウンドが聴けます



マーシャル公式ウェブサイトに開発者へのインタビューが掲載されています

MA Series

過去50年の長きにわたってマーシャルのフル・バルブ・モデルは多くのギタリストのあこがれであり、夢でありました。スラッシュやジェフ・ベック、故ジミ・ヘンドリックスのような伝説的なギタリストたちだけでなく、マイケミカル・ロマンスのレイ・トロやチルドレン・オブ・ボドムのアレキシ・ライホといった新進のギタリストたちもマーシャルのバックラインが彼らのインスパイアの素となっているのです。そして、その鍵は真空管が作り出すトーンが握っているのです。

フル・バルブ、クリスタル・クリーンと灼熱のディストーションの2チャンネル構造、そして自在に設定できるクランチ・サウンド…リーズナブルなMAシリーズが新しいマーシャルの世界に誘います

MA100H & M412A/B



イギリス本国で設計されたMAシリーズの心臓部はECC83とEL34の伝統的なコンビネーションによる純粋な真空管回路です。

MAシリーズでは100Wと50Wのヘッドとコンボをご用意しました。それぞれ同じ機能を搭載しています。2チャンネル構造が生み出す計り知れないトーンへの可能性、直線的なフロント・パネル・レイアウト、独立したEQセクションにより思いのサウンドを作り出すことが可能です。

クリーン・チャンネルにおいて、シングルコイル・ピックアップのギターを用いた場合には澄み切った明るいサウンドをクリエイト。一方、パワフル

MA50H & M412A



なハムバックング・ピックアップのギターを使用し、ボリュームを上げた際に得られる自然な歪みの王道サウンドはコンテンツボラーなロックからビンテージ・ロックをカバーします。そして、ひとたびチャンネル・スイッチをヒットし、オーバードライブ・チャンネルを選択したならば、マーシャルのフル・バルブ・パワーの世界がそこに広がり、輝かしいブルース・クランチからハード・ドライビングなディストーション・サウンドまで自在にカバーします。

オーバードライブとブースター・サウンドの違いは「クランチ・バランス」の設定が影響します。チャンネルがODでBoostをオフにしている時、クランチ・バランスをアップするとゲインの設定とは関係なく歪みが深くなっていきます。反対にクランチ・バランスを下げると歪みの量は減少しますが、フロント・パネルもしくは付属のフットスイッチを使ってブースト・スイッチをオンにすれば灼熱のブースト・サウンドにジャンプすることができるのです。いわばMAの第3のチャンネルといった感覚です。

言い換えると、クリーンとオーバードライブをセッティングした後に自由にクランチ具合をセッティングしたチャンネルが追加されるということです。これはかなり便利!

マスター・セクションのプレゼンスやレゾナンス、リバーブ、シリアル・ループ回路などがより緻密な音作りに役立ちます。

コンボ・バージョン、2×12"のMA100Cと1×12"のMA50Cにはこのシリーズのために新しくカスタム・ボイスニングされたEminence製AX-75が搭載されておりMAのサウンドを引き立てます。

また、これらのスピーカーは同時発売のフル・サイズ（1960AまたはBと同サイズ）の4×12"キャビネット、M412AとM412Bにも搭載されています。

ルックスも新しく、MA100HとMA50Hのフロント・パネルは内部が透けて見えるようになっており、文字通りバルブ・パワーが輝いています。

マーシャルのスタックをいつか使ってみてみたいと夢見ている人、使いやすく手ごろなフル・バルブ・アンプを探している人、または初めて真空管アンプを手に入れようとしている人…みんなまとめてMAシリーズが面倒をみてくれることでしょう!

MA100C



MA50C



仕様	MA100H	MA50H	MA100C	MA50C
プリ管	ECC83 x 3	ECC83 x 3	ECC83 x 3	ECC83 x 3
パワー管	EL34 x 4	EL34 x 2	EL34 x 4	EL34 x 2
実効出力	100Wrms	50Wrms	100Wrms	50Wrms
スピーカー	—	—	Eminence AX-75 x 2	Eminence AX-75 x 1
サイズ(mm)	750W x 310H x 250D	750W x 310H x 250D	680W x 510H x 265D	635W x 510H x 270D
重量 (Kg)	18.4	16.4	28.4	22.7

仕様	M412A	M412B
スピーカー	Eminence AX-75 x 4	Eminence AX-75 x 4
許容入力	300Wrms	300Wrms
インピーダンス	16Ω	16Ω
サイズ(mm)	760W x 830H x 360D	760W x 830H x 360D
重量 (Kg)	34	35



MA100H

100W 2ch REVERB VALVE AMP HEAD



MA50H

50W 2ch REVERB VALVE AMP HEAD



MA100C

100W 2ch REVERB VALVE AMP COMBO



MA50C

50W 2ch REVERB VALVE AMP COMBO

M412A/ 412B

4x12 SPEAKER CABINET ANGLED TYPE / BASE TYPE

FRONT PANEL FUNCTIONS

Master: PRESENCE, RESONANCE, REVERB
Overdrive ch: VOLUME, TREBLE, MIDDLE, BASS, GAIN, CRUNCH
 BALANCE, BOOST SW, CHANNEL SW (OVERDRIVE/CLEAN)
Clean ch: VOLUME, TREBLE, MIDDLE, BASS

REAR PANEL FUNCTIONS

Function: FOOTSWITCH JACK
Effect Loop: SEND/RETURN JACK, EXT FX SW (-10dB/+4dB, BYPASS/LOOP)
Outputs: SPEAKER OUT X 2 (1 x 8Ω/2 x 16Ω), SPEAKER OUT X 1 (1 x 16Ω)
Footswitch: PEDL91011 (付属)

Haze Series

フル・バルブ回路が生み出す至高のアナログ・トーンがHazeシリーズの最大の特長です。独立装備のリバープをはじめ、カスタム・ボイスンギングされたスタジオ・ユース・クォリティの3つのエフェクト——エコー、パイプ、コーラス——は陰に日向にあなたのパフォーマンスを幅広く飾り立てるでしょう。使いやすいフットスイッチも付属。この弾き心地はタダものじゃない！ ...手頃な大きさと価格帯でマーシャル・フル・バルブをお探しの方に最適のシリーズです。

MHZ15 & MZH112A/B

Haze15 (MHZ15) は ECC83 プリ・バルブと6V6 パワー・バルブを搭載したマーシャル・フル・バルブ直系の2チャンネル・ミニ・ヘッドです。ベース、ミドル、トレブルの伝統的EQセクションがノーマルとオーバードライブの2通りのサウンドを自在に彩ります。クリーン・トーンを受け持つノーマル・チャンネルでは、ボリュームを上げるとナチュラルなクランチ・サウンドとなり、ギターのパフォーマンスで劇的にサウンド・キャラクターを変化させます。加えてブライツ・スイッチがトーンを鮮やかにきらめかせます。一方、オーバードライブ・チャンネルはゲインとボリュームでサウンド・キャラクターを決定します。ブルージーなプレイからコシのある図太いディストーション・サウンドまでを見事にクリエイティブにします。この場合もギターのパフォーマンスの上げ下げでサウンドを変化させてみてください。Haze はギターから送られてくる信号を忠実にアンプリファイします。

Haze15 にピッタリのスピーカー・キャビネットがMHZ112A とMHZ112B です。開発に当たってはサイズや形状だけでなく、当然搭載するスピーカーの選択にも慎重を期しました。このキャビネットに選ばれた栄えあるスピーカーはHaze のために新たに開発されたCelestionのG12T-66 Marquee (マーキー) でした。マーシャルの50年近くに及ぶスピーカー・キャビネット製作のノウハウもつぎ込み、分厚い低音と豊かな中域を放つ傑作キャビネットが誕生しました。

仕様	MHZ112A / MHZ112B
実効出力	15Wrms
許容入力	各66W
スピーカー	CelestionG12T-66 Marquee
サイズ(mm)	555W x 600H x 305D
重量 (Kg)	A:13.2 B:13.6



MHZ15

HAZE SERIES 15W 2ch
REVERB & EFFECTS AMP HEAD

MHZ112A/ B

1x8 SPEAKER CABINET
ANGLED TYPE / BASE TYPE

FUNCTIONS

Front Panel: INPUTJACK Normal CH: VOLUMECHANNEL SWITCH, BRIGHTSW OverdriveCH: GAIN, VOLUMECH共通EQ: TREBLE, MIDDLE, BASS CH共通Effects: REVERB LEVEL (ON/OFF), EFFECT DEPTH (ON/OFF), ADJUST EFFECT SELECTSW (ECHO/VIBE/CHORUS)
Rear Panel: LOUDSPEAKER OUTPUT JACK x 2 (1 x 16Ω, 1 x 8Ω / 2 x 16Ω)
Footswitch: PEDL90009 (付属)



MHZ40C

Haze キャビネットと同じスピーカーを搭載した40W のコンボ・バージョンがHaze40 (MHZ40) です。Haze15 同様2つのチャンネルを擁していますが、Haze40 はそれぞれのチャンネルに独立したブースト・スイッチを搭載し、プレイヤーの好みに応じてサウンドをファットにします。また、3バンドのEQに加えプレゼンスを備え、より多彩なサウンド・メイキングを可能にしました。しかし、何といてもHaze15 との最も大きな違いはパワー管です。こちらはマーシャルのシンボルともいべきEL34 を搭載し、ヌケ・コシ・ツヤのあるサウンドを見事に叩き出します。ライン・アウトとリア・パネル上のスイッチで完全バイパスとなるループ回路も装備しています。MHZ40C はクリスタルなクリーン、そしてウットリするようなビンテージ・トーンから気合の入ったディストーション・サウンドを絞り出します。Haze シリーズにはチャンネルとエフェクトON/OFF を制御する2ウェイ・フットスイッチが付属していますが、Haze40C には別売で4ウェイ・フットスイッチもご用意されています (PEDL-10049)。通常のギターケーブルで接続が可能で、①チャンネル②オーバードライブ時のブーストON/OFF③ リバープON/OFF④内蔵エフェクトのON/OFF をコントロールします。



仕様	MHZ15	MZH40C
プリ管	ECC83 x 3	ECC83 x 3
パワー管	6V6 x 2	EL34 x 2
実効出力	15Wrms	40Wrms
スピーカー	-	CelestionG12T-66 Marquee x 1
サイズ(mm)	500W x 240H x 220D	590W x 500H x 260D
重量 (Kg)	9.3	20.3



マーシャル公式サイトでサンプル・サウンドが聴けます



MHZ40C

HAZE SERIES 40W 2ch
REVERB & EFFECTS AMP COMBO

FUNCTIONS

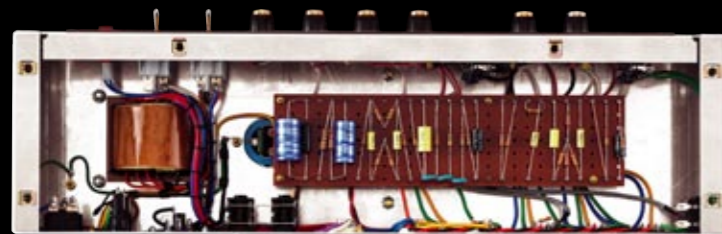
Front Panel: INPUTJACK Normal ch: VOLUME, BRIGHTSWITCH, BOOSTSW Overdrive ch: CHANNELSW, BOOSTSW, GAIN, VOLUME ch共通EQ: TREBLE, MIDDLE, BASS, PRESENCE ch共通Effects: REVERB LEVEL (ON/OFF), EFFECT DEPTH (ON/OFF), ADJUST EFFECT SELECTSW (ECHO/VIBE/CHORUS)
Rear Panel: LOUDSPEAKER OUTPUT JACK x 2, EMULATED LINE OUT x 1, EFFECTS LOOP
Footswitch: PEDL90009 (付属)
Footcontroller: PEDL10049 (別売)

Handwired Series

現在ではコレクターズ・アイテムとして入手困難な伝説の名機が、ジム・マーシャル自身の強いサジェスションのもと、遂に完璧な姿で甦りました。かねてから要望の絶えなかった、ハンド・ワイヤード・アンプの復活です。それは極めて明瞭なコンセプトでありながら、その完成までには途方もない時間と労力を費やしました。それは当時のアンプの全ての構成要素、つまりサーキット、組み立て方、材質、スベック、外観、シグナル・パス、高い性能、トーン・キャラクターとフィールなどを限りなく当時のままに再現する作業だったからです。実際に当時の部品や素材を探し出しその関係性を分析することで、かねてからの製造法を復活、ハンド・ワイヤリングのタグボードや、オーダーメイドの出力トランスと電源トランスの採用により、驚くほど高性能なリイシュー・モデルが完成しました。こうして生まれたハンド・ワイヤード・シリーズのサウンドは全てにおいて一線を画するものです。実に30~40年以上ぶりに甦った絶品のサウンド、伝説を文字通り体現する究極のマーシャル・アンプを、ここに自信を持ってお届けします。

1974X & 1974CX (1974CXは受注生産)

1966年から1968年にかけて製造され人気を集めたとてもコンパクトなコンボ・アンプです。非常にシンプルなコントロールや仕様、回路構成ながら、抜群のサウンドとフィールを誇ります。音量を上げた時のサウンドは絶品で、その表情の豊かさや音の太さに目をみはるでしょう。そして音量を下げた時の厚みのある独自のクリーン・トーンもこのアンプならではのものです。ピッキングのダイナミクスに対するレスポンスが非常に良いため、音量をディストーションに入るギリギリのところを設定すると、力強くピッキングした時には気持ちの良い歪みを生みだし、アタックを控えれば美しいクリーンになります。搭載スピーカーは、セレクションの技術者がこのアンプのためにビンテージ・スピーカーのパラメーターを調べ上げ、再現しました。コーンの素材を厳選、磁力を当時の物と一致させるなど、特別なエージングを施してリイシューされたセレクション・スピーカーは、パンチがきいていながらスムーズという、このコンボのユニークなサウンドに大きく寄与しています。当時のままに真空管で駆動するトレモロはかかりが良く、鮮やかで美しいビンテージ・トレモロを再現、ダイカスト製のフットスイッチでオン・オフが可能です。1974Xと同じルックスのエクステンション・キャビネット、1974CX (受注生産) を併用すればさらに厚みと奥行きが増した、迫力のビンテージ・サウンドが甦ります。



真空管構成は、ECC83 (12AX7) プリ管3本、EZ81 整流管1本、プッシュ・プル式に働くEL84パワー管2本を搭載。



1974X

18W 2ch 1x12 HANDWIRED VINTAGE VALVE COMBO

(1974X)

TOP PANEL FUNCTIONS

ch 1: TONE, VOLUME
ch 2: TREMOLO SPEED, TREMOLO INTENSITY, TONE, VOLUME

BOTTOM PANEL FUNCTIONS

Outputs: SPEAKER OUT x 2
Others: OUTPUT SELECTOR (4, 8, 16Ω), FOOTSWITCH JACK for TREMOLO

1974CX (受注生産)

1x12 HANDWIRED VINTAGE SPEAKER CABINET



2061X

20W 2ch HANDWIRED VINTAGE VALVE AMP HEAD

(2061X)

FRONT PANEL FUNCTIONS

Lead ch: TONE, VOLUME
Bass ch: TONE, VOLUME

REAR PANEL FUNCTIONS

Outputs: SPEAKER OUT x 2
Others: OUTPUT SELECTOR (4, 8, 16Ω)

2061CX (受注生産)

2x12 HANDWIRED VINTAGE SPEAKER CABINET

2061X & 2061CX (2061CXは受注生産)

2061Xヘッド・アンプ (リード&ベース20) は、1960年代の終わりから1970年代の初めにかけて製造されました。1974X同様、今や市場では入手困難なモデルのリイシューです。整流管を搭載した1974Xとは異なり、ソリッドステートのシリコン・ダイオード整流装置の搭載により、アグレッシブで驚くほどモダンなサウンドでありながら、あの特徴ある理想的なビンテージのオール・バルブ・トーンを誇ります。まさに現代のニーズにも応えるサウンドを持つての復活です。フロント・パネルの素材はプレシキグラスを採用した1974Xとは異なり、綿密な時代考証の下、表面にブラシをかけて仕上げたゴールドのアルミを採用しています。

2061CXは、このヘッド・アンプとベスト・マッチするスピーカー・キャビネットです。搭載された2本のセレクション・スピーカーにはヘビー・グレード・ワイヤを使用、ハンド・ワイヤードによりモノジャック・コネクタに接続されています。フレットクロスは“ソルト&ペッパー”と呼ばれる仕様を採用されています。2061Xヘッドと繋ぐことにより、この組み合わせ以外では不可能と思われる、極めて表情豊かにマッチングした独自のサウンドが得られます。



仕様	1974X	1974CX	2061X	2061CX
整流管	EZ81 x 1	—	—	—
プリ管	ECC83 x 3	—	ECC83 x 2	—
パワー管	EL84 x 2	—	EL84 x 2	—
実効出力	18Wrms	—	20Wrms	—
許容入力	—	20Wrms	—	60Wrms
スピーカー	Celestion G12M-20	Celestion G12M-20	—	Celestion G12H-30 x 2
サイズ(mm)	610W x 508H x 226D	610W x 508H x 226D	510W x 208H x 206D	643W x 643H x 300D
重量 (Kg)	19	14	10	24.0

Class 5

Class 5

ロー・ワットテージ、コンパクトにしてパンチなフル・バルブ・マーシャル、Class5が誕生！トップ・ローデッド・コントロール・パネル、ボリューム、トレブル、ミドル、ベースというシンプルながらコントロール、Class5は「Back to Basics」を旗印に伝説のBluesbreaker (1962)のスタイルを踏襲しました。このシンプルさがこそがClass5の武器なのです。この最もビュアな設計によって得られるのが倍音たっぷりのClass Aトーンです。プレイヤーの指で料理されるビュアなフル・バルブ信号。はじけるクリーン、深遠なクランチそしてゴージャスなリード・トーン…これらがギターのパフォーマンスとプレイヤーのテクニックによってダイナミックにクリエイティブされます。また、このアンプのために開発されたセレッション製G10F-15スピーカーは、Class5のひとつの大きな特徴であるケタはずれなボトム・エンドをクリエイティブします。リア・パネルにはヘッドホン端子と16Ωの外部スピーカー接続端子を搭載。ヘッドホンを使用しての練習はもちろん、おなじみの1960 4×12"スピーカー・キャビネットを咆哮させることも可能です。



仕様	Class 5
プリ管	ECC83 x 2
パワー管	EL84 x 1
実効出力	5Wrms
スピーカー	CELESTION G10F-15
サイズ(mm)	495W x 415H x 230D
重量 (Kg)	12



TOP PANEL FUNCTIONS

Function: VOLUME, TREBLE, MIDDLE, BASS, INPUT

REAR PANEL FUNCTIONS

Outputs: HEADPHONE OUT, EXTENSION SPEAKER OUT.
Others: SPEAKER/HEADPHONE SELECT SW

JCM800 Series

2203

'80年代のハードロック/ヘビメタル・シーンを支えた伝説の名器、JCM800シリーズ2203。ビンテージ・アンプから受け継がれた伝統的トーン・コントロール構成+マスター・ボリュームという、シンプルかつ機能的なスタイルから生み出されるストレートなマーシャル・サウンドは、かのザック・ワイルドをはじめ、今なお多くのギタリストから熱烈な賞賛を受け続けています。

仕様	2203
プリ管	ECC83 x 3
パワー管	EL34 x 4
実効出力	100Wrms
サイズ(mm)	748W x 297H x 214D
重量 (Kg)	21



今回の復刻で、新たにエフェクト・ループを搭載。バイパス・スイッチを押すことでループ回路を完全にバイパスすることも出来ます。



FRONT PANEL FUNCTIONS

Function: PRESENCE, BASS, MIDDLE, TREBLE, MASTER VOLUME, PRE-AMP VOLUME, INPUT (HIGH / LOW)

REAR PANEL FUNCTIONS

Effect Loop: SEND, RETURN, LEVEL SW (+4 / -10dB), BYPASS / ACTIVE SW
Outputs: LOUDSPEAKER OUT x 2
Others: MAINS SW, IMPEDANCE SELECT SW (4 / 8 / 16Ω)

JCM900 Series

4100 (受注生産)

スプリット・チャンネルの思想をさらに推し進め、それぞれにゲイン・レベル、マスター・ボリューム、リバーブ・コントロールを持つ、独立した2つのチャンネルを搭載。<ハイ・ゲイン・デュアル・リバーブ>は、超極太のオーバードライブ・サウンドとクリスタル・クリーン・サウンドとの鮮やかなハイ・コントラストが最大の特長です。JCM900だけが持つ、太く男性的な歪みが人気の的です。

仕様	4100
プリ管	ECC83 x 3
パワー管	5881 x 4
実効出力	100/50Wrms
サイズ(mm)	750W x 310H x 220D
重量 (Kg)	18.8



Rack Products Series

EL34 50/50 & EL34 100/100 (受注生産)

パワフルで100%ピュアなオール・バルブ・アンプ。完全独立〈モノブロック〉2個によるステレオ仕様と独自の完全差動インバータ回路により、広帯域幅にわたって鮮明なサウンドが得られます。



仕様	EL34 50/50	EL34 100/100
パワー管	EL34 x 4	EL34 x 8
プリドライバー	ECC83 x 2	ECC83 x 2
フェイズインバーター	ECC81 x 2	ECC81 x 2
実効出力	50 + 50Wrms	100 + 100Wrms
サイズ(mm)	485W x 135H x 330D (19" x 3U)	485W x 135H x 330D (19" x 3U)
重量 (Kg)	19	20.5

*モノラル200W〈EL34 100/100〉・100W〈EL34 50/50〉使用はできません。
*現在はフロント・パネルの素材がスチールに変更されています。

1960DM Dave Mustaine Signature

ウエスト・コースト・スラッシュ・メタルの重鎮として、80年代初頭より確固たる地位を築き、ロック史に名を残すであろうメガデスのフロントマン、デイヴ・ムステイン。マーシャルは彼の業績に敬意を表しシグネチャー・スピーカー・キャビネットを製作しました。スラッシュに始まったマーシャルのシグネチャー・モデルたち…。中でも1960DMは初めてのシグネチャー・キャビネットです。ステージで異彩を放つメタルなルックスと大地を切り裂く凶暴なトーンは、マーシャル・キャビネットの伝統を受け継ぎつつ新しい次元へと導くマイルストーンです。この発売に併せ、1960DMのルックスにベストマッチするカーボン・ファイバー・テイストのカバリングを使用したJVMアンプ・ヘッドも発売しました。

また、デイヴの工場見学の模様やインタビュー、ライブ・フォトを収録したオリジナルDVD、キャビネット製作に携わったクラフツマン達による商品認定証、カスタム・アートワーク・キャビネット・カバーが付属します。

JVM410HCF & 1960ADM/BDM

1960DMの製造は他のキャビネット同様、1台ずつイギリス工場の木工行程において熟練のクラフツマンが専用の工具や設備を使用し木材を切り出し、そして組み立てるところから始まります。トップ、サイド、ボトムそれぞれの材がフィンガー・ジョイントと特殊なボンドを用いて組み上げられ、高周波プレスにかけられ、ボンドが高周波によって凝固される間にプレス機は組み立てが正確になされているかを厳密にチェック、過酷な環境に耐えるかどうかを精査します。その後、製品にはバッフル板が取り付けられサンドがかけられます。次の工程はカバリング・セクションで、下地にカーボン処理をした後、カバリングが施されます。デイヴ自らが選んだこれまでにどのキャビネットにも使用されたことのないカーボン・ファイバーを連想させるカバリング地が1960DMの頑丈さをアピール。このカバリング工程は工場の中でもっとも熟練を要する作業です。手作業によってカットされ、キャビネットに接着されます。仕上げの工程は、配線、ハンドルやコーナー・ガードの取り付け、ダイヤモンド・パンチが施されたキック・グリルなどを取り付け1960キャビネットの体裁に整えることです。マーシャル・ロゴや1960DMだけのシルバー・シグネチャー・ブラークも取り付けられます。そして、肝心なスピーカーが取り付けられるのもこの行程です。デイヴのサウンドを聴けばわかるようにスピーカーは非常に重要なものです。1960DMの開発にはさまざまなタイプのスピーカーが試されました。それぞれの音は素晴らしいものでしたが、タイトさと音のまとまりという点でデイヴはCelestion G12V-30を選びました。骨をも砕くそのサウンドはレスポンスにも優れ、ここに衝撃の280Wキャビネットが誕生したのです。

デイヴ・ムステイン・キャビネット・マッチングJVM

- JVM410HCF 100W 4チャンネル・アンプヘッド
 - JVM210HCF 100W 2チャンネル・アンプヘッド
 - JVM205HCF 50W 2チャンネル・アンプヘッド
- (外観以外の仕様はJVM4、JVM2と同様です)



4100 (受注生産)
100/50W
VALVE AMP HEAD

FRONT PANEL FUNCTIONS	REAR PANEL FUNCTIONS
<p>ch A: GAIN (ch A), VOLUME, REVERB</p> <p>ch B: LEAD GAIN (ch B), VOLUME, REVERB</p> <p>ch A/B共通: TREBLE, MIDDLE, BASS, PRESENCE, ch A/B SELECT SW, FOOTSWITCH JACK for CHANNEL/REVERB</p> <p>Footswitch: PEDL10009 (別売)</p>	<p>Effect Loop: SEND, RETURN, LOOP LEVEL CONTROL (+4 ~ -10dB)</p> <p>Outputs: LOUDSPEAKER OUT x 2, D.I. OUT, RECORDING COMPENSATED OUT</p> <p>Others: IMPEDANCE SELECT SW (8/(4)16Ω), OUTPUT MODE SW (HIGH/LOW)</p>

EL3450/50 (受注生産) EL34100/100 (受注生産)
50+50W STEREO VALVE POWER AMP 100+100W STEREO VALVE POWER AMP

FRONT PANEL FUNCTIONS	REAR PANEL FUNCTIONS
<p>Per Channel: GAIN, PRESENCE, VOICE A/B</p>	<p>Per Channel: INPUT, SPEAKER OUT, LINE OUT, INPEDANCE SELECT SW (8/16Ω), FOOTSWITCH JACK for VOICE</p> <p>Footswitch: PEDL10008 (別売)</p>

1960ADM/ BDM JVM410HCF
4x12 SIGNATURE SPEAKER CABINET ANGLED TYPE / BASE TYPE 100W 4ch DIGITAL REVERB VALVE AMP HEAD

仕様	1960ADM	1960BDM
スピーカー	Celestion G12V-30 x 4	Celestion G12V-30 x 4
許容入力	280Wrms	280Wrms
インピーダンス	8Ω: STEREO 16/4Ω: MONO	8Ω: STEREO 16/4Ω: MONO
サイズ(mm)	770W x 755H x 365D	770W x 755H x 365D
重量 (Kg)	43	44

2203KK Kerry King Signature

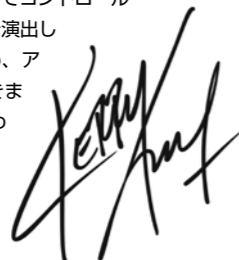
スレイヤーのギタリスト、ケリー・キングが所有する「ザ・ビースト（野獣）」とあだ名された2203をもとに作られたのがこの2203KKです。パワー管にKT88を4本搭載、このバルブがサウンドをウォームに、そして音に広がりを与え、かつてない重厚な弾き心地を獲得しました。サウンドの核は80年代中期の伝説的2203のクラシック・トーンですが、「ザ・ビースト」というスイッチが弾き手をパワフルでモダンな異次元へと誘います。またケリーはキャビネットにMF280Bを選択、このトール・サイズのキャビネットからバランスの取れた中域と驚異的なボトム・エンドが生みだされます。アンプのルックスはケリーのタトゥーをイメージしています。

2203KK & MF280B (MF280Bは受注生産)



「The Beast」スイッチは、ケリーが実際に使用していた外部エフェクターの効果を完璧に再現します。ひとつはスタジオ・クオリティの超高速ノイズ・リデューサー。ナチュラルなサスティンを保持する一方、強烈なスタックアード・プレイやショート・パッセージの時には猛烈に早いディケイを約束します。スイッチのLEDが赤の時は回路が作動中、また、グリーンの時には信号が回路を通過していることを表します。もうひとつはカスタム・ボイシングEQです。ケリーのスペックに合わせて中域をゲイン・ブーストすることができます。これらの効果は「Gate (スレッシュールド)」と「Assault (インテンシティ)」によってコントロール

し、ケリー・サウンドの猙獰さと攻撃性を演出します。2203Kは1チャンネル構造のため、アンプ側で歪みやクリーンの切り換えはできません。でも、歪み一発狙いならまず迷わずコレ。「ザ・ビースト」をオフにしてギターのボリュームを下げたクランチ〜クリーン・サウンドもたまりません。



仕様	2203KK
プリ管	ECC83 x 3
パワー管	KT88 x 4
実効出力	100Wrms
サイズ(mm)	750W x 310H x 215D
重量 (Kg)	21.5



FRONT PANEL FUNCTIONS

Function: PRESENCE, BASS, MIDDLE, TREBLE, MASTER VOLUME, PRE-AMP VOLUME, INPUT (HIGH / LOW), "The Beast" SW, Gate (Threshold), Assault (Intensity)

REAR PANEL FUNCTIONS

Loudspeaker Output: 16Ω専用 OUT x 1, 1 x 8Ω / 2 x 16Ω, 1 x 4Ω / 2 x 8Ω

1959RR Randy Rhoads Signature

1980年に、ランディ・ローズは自らマーシャルの工場を訪れました。理想のサウンドを探していた彼がマーシャルに求めたのは、パワー・トーン、信頼性を満たし、かつ、彼自身のイメージを創造できるアンプでした。その理想のほとんどを1959ヘッドに見いだしたものの、彼希望はさらに高いものでした。時の担当者にその違いを説明し、1959に改造を施すことにより、ついに彼の理想に完璧にマッチするサウンドを奏入れたのです。今回のランディ・ローズ・シグネチャー・アンプの復刻にあたり、彼の遺族の許可を得て、1982年の彼の突然の死以降厳密に保護されていたランディ所有のアンプの精査が可能になりました。それにより彼のアンプにのみ施された、独特の改造を忠実に再現することができたのです。それは取りも直さずロックの歴史を作ったサウンドを再現することであり、このマーシャル・スタックにプラグ・インして音を出した全てのギタリストを通じて伝説が甦るのです。

1959RR & 1960AWH/BWH (1960AWH/BWHは受注生産)

ランディ・ローズの1959RRはスタンダードな1959とは異なり、チャンネルIIに「カスケード」モードを搭載しています。ゲインを増やし、それにより回路内のディストーションを増加させるという変更です。シンプルながらランディが求めた歪みのレベルにアンプを押し上げることが可能になったのです。具体的には、チャンネルIIに入力することでボリューム1がカスケード回路全体のマスター・ボリュームとして機能し、ボリューム2はゲイン・コントロールの役目を果たします。チャンネルIに繋がればカスケード回路はバイパスされ、通常の1959スーパーリードのボリューム・コントロールと同じように機能します。

1960AWH/BWHは1959RRとジャスト・フィットするホワイト・カバリングの1960です(受注生産)。

仕様	1959RR
プリ管	ECC83 x 3
パワー管	EL34 x 4
実効出力	100Wrms
サイズ(mm)	750W x 270H x 210D
重量 (Kg)	21.4

仕様	1960AWH	1960BWH
スピーカー	Celestion G12T-75 12" x 4	Celestion G12T-75 12" x 4
許容入力	300Wrms	300Wrms
インピーダンス	8/8Ω: STEREO 16/4Ω: MONO	8/8Ω: STEREO 16/4Ω: MONO
サイズ(mm)	760W x 830H x 360D	760W x 830H x 360D
重量 (Kg)	36.4	37



FRONT PANEL FUNCTIONS

Function: PRESENCE, BASS, MIDDLE, TREBLE, LOUDNESS 1 (HI TREBLE), LOUDNESS 2 (NORMAL)

1960AWH / BWH (受注生産)

4x12 ORIGINAL VINTAGE SPEAKER CABINET ANGLED TYPE / BASE TYPE

REAR PANEL FUNCTIONS

Outputs: SPEAKER OUT x 2
Others: OUTPUT SELECTOR (4, 8, 16Ω), MAINS SELECTOR



マーシャル公式ウェブサイトにて開発者へのインタビューが掲載されています

Vintage Re-Issue Series

マーシャル・アンプは1962年、時の音楽のニーズに呼応するべくビート・タウンゼンド他の協力を得、JTM45を開発しその産声を上げました。エリック・クラプトンのリクエストによって生まれたのがそのコンボ・バージョン1962です。その後、ロックという音楽はますます大音響を欲し、マーシャルも100Wのアンプを開発しました（JTM45/100）。その発展系が1966年に発表された1959です。これらのモデルが60年代後半から70年代に大活躍し、ロックの歴史の1ページに名前を刻んだことは疑いようのない事実です。

マーシャルはこれらの歴史的遺産を後世へ受け継ぐべく、現在でもこれらのモデルの生産を行っています。

どんなに音響技術が発展しても、これらの歴史的楽器のサウンドを完全に真似することは不可能でしょう。なぜならこれらの名器にはマーシャルだけがなし得た真のオリジナル・サウンドが詰め込まれているからです。



1959SLP

1959SLPは60年代末に製造を開始して以来、様々な回路的・外観的改良が加えられてきましたが、なかでも「60年代末から70年代初頭に製造されたモデルが最高！」というのがマーシャル信者達の一致した意見です。この時代のモデルに特有のすばらしいトーンとベルベットのよう滑らかなオーバードライブに満ちたサウンドを見事に再現した完璧な複製版がこの1959SLPです。チャンネル・リンクによる多彩なトーン作りが可能で、さらにエフェクト・ループも搭載し、多彩なサウンド作りを可能にしました。



1960AX/BX

セレクションGreenback G12M-25を4本搭載し、ビンテージ・スタイルのビニール・レザーとオールド・ルックスのチェック模様のフレットクロスを採用し、サウンド、ルックスともに1959SLP/1987Xにピッタリです。（※P25参照）

1959SLPと1960AXまたはBXとの1対1の組み合わせで大音量、長時間使用される場合、スピーカへの規格に対して過剰入力となり、スピーカを損傷する恐れがありますので充分ご注意ください。3段スタックで使用される場合はスピーカ損傷の恐れはほとんどありません。また、アンプ故障の大きな原因となりますのでアッテネーターを使用される場合には過度なアッテネーション（アンプをフルボリュームにして、アッテネーターで極端に音量を下げる等）をしないでください。

仕様	1960X	1960TV
スピーカー	Celestion G12M-25 x 4	Celestion G12M-25 x 4
許容入力	100Wrms	100Wrms
インピーダンス	16Ω	16Ω
サイズ(mm)	760W x 830H x 360D	760W x 910H x 380D
重量 (Kg)	Angled A: 37.7 Base B: 38.2	39

仕様	1959SLP	1987X	JTM45	1962
電源整流管	—	—	GZ34 x 1	GZ34 x 1
プリ管	ECC83 x 3	ECC83 x 3	ECC83 x 3	ECC83 x 4
パワー管	EL34 x 4	EL34 x 2	5881 x 2	5881 x 2
実効出力	100Wrms	50Wrms	30Wrms	30Wrms
サイズ(mm)	750W x 260H x 210D	660W x 260H x 205D	660W x 260H x 205D	740W x 610H x 265D
重量 (Kg)	20.5	15.3	14.6	30.2

1959SLP
100W ORIGINAL VINTAGE VALVE AMP HEAD

1960AX/ BX
4x12 ORIGINAL VINTAGE SPEAKER CABINET ANGLED TYPE / BASE TYPE

FRONT PANEL FUNCTIONS

Function: PRESENCE, BASS, MIDDLE, TREBLE, LOUDNESS 1 (HI TREBLE), LOUDNESS 2 (NORMAL)

REAR PANEL FUNCTIONS

EEffect Loop: SEND, RETURN, LEVEL SW (+4 / -10dB), BYPASS / ACTIVE SW

Outputs: SPEAKER OUT x 2

Others: OUTPUT SELECTOR (4, 8, 16Ω), MAINS SELECTOR

1987X

1987Xは元貴分の1959SLPとフロント/リアともまったく同じパネル・レイアウトを持つ50ワット・ビンテージ・アンプ・ヘッドです。隅々まで入念に再現されたオリジナルに忠実なルックスと、スイートかつウォームなビンテージ・トーンはまさしく本物の証といえるでしょう。搭載されたエフェクト・ループは1959SLPと同様、使用しないときにはバイパス・スイッチを押すことで回路を完全にバイパスすることが出来るため、本来の音質に影響を及ぼすことはありません。



1962 Bluesbreaker® Combo

トーン的にはJTM45と似通った1962にはセレクションGreenback G12M-25x2本が搭載され、チャンネル2には付属のフットスイッチで切り替える“トレモロ・エフェクト”が装備されています。



*この1962は、エリック・クラプトンが“John Mayall & the Bluesbreakers with Eric Clapton”(通称“Beano” Album)のレコーディングに用いたことから、“ブルースプレーカー”というニックネームで親しまれるようになりました。

1987X
50W ORIGINAL VINTAGE VALVE AMP HEAD

FRONT PANEL FUNCTIONS

Function: PRESENCE, BASS, MIDDLE, TREBLE, LOUDNESS 1 (HI TREBLE), LOUDNESS 2 (NORMAL)

REAR PANEL FUNCTIONS

EEffect Loop: SEND, RETURN, LEVEL SW (+4 / -10dB), BYPASS / ACTIVE SW

Outputs: SPEAKER OUT x 2

Others: OUTPUT SELECTOR (4, 8, 16Ω), MAINS SELECTOR

JTM45 & 1960TV

オリジナルのJTM45と同様に整流管としてGZ34を搭載したことにより、JTM45の鋭く透明なクリーントーンと滑らかなウォームなサスティーンを忠実に再現することができました。

1960TVの“TV”はTall Vintageの略。すなわち、標準的な1960より3インチも背が高く、オリジナルのフレットクロスも再現、スピーカーには1960AX/BXと同じセレクションGreenback G12M-25x4本を搭載しています。



JTM45
30W ORIGINAL VINTAGE VALVE AMP HEAD

1960TV
4x12 ORIGINAL VINTAGE SPEAKER CABINET

FRONT PANEL FUNCTIONS

Function: PRESENCE, BASS, MIDDLE, TREBLE, LOUDNESS 1 (HI TREBLE), LOUDNESS 2 (NORMAL)

REAR PANEL FUNCTIONS

Outputs: SPEAKER OUT x 2

Others: OUTPUT SELECTOR (4, 8, 16Ω)

Extension Cabinets

マーシャルの壁ほどロックのイメージを漂わせるものはないでしょう。かつて幾多のコピーが出回ったことでしょうか？ しかし、オリジナルに比肩し得るものはありません。世界初の4×12"キャビネットは1962年にジム・マーシャルの手によって生み出され、その瞬間に伝説が誕生したのです。それ以来マーシャルは何千ものキャビネットを製造し、それらは地球上のあらゆるステージで活躍してきました。

4×12"の成功の後、すぐに最初のスタックが誕生しました。つまり、アンプヘッド、アングルド・トップ・キャビネットそしてストレート・ベース・キャビネットの布陣です。このスタイルはザ・フーのビート・タウンゼンドとの打ち合わせから生じたものです。当初ビートはジムにアングルのついた8×12"の製作を依頼しました。しかしその重量のため、ロードクルーの猛烈なクレームを浴びたビートはジムのところへ戻り、素晴らしいサウンドはそのままにもっと実用的なキャビネットを製作してもらおう願ひ出たのです。「初めから言った通りに切っちゃうってもんだ」とはジムの即座な返答。こうして伝説のマーシャル・フル・スタックが生まれたのです！

よいギター・サウンドを得る上で、音の最終出口のスピーカー・キャビネットは重要で、これを軽視することはナンセンスです。マーシャルは長年のノウハウを生かした個性豊かなキャビネットを取り揃えています。あなたのギタープレイにもっとも適したキャビネットを選んでください。

AキャビかBキャビか？

マーシャル3段積みが生じた経緯は先に述べた通りです。8×12"を真っ二つに切り離し、結果、アングルのついたAキャビネット（Aキャビネットの"A"は"Angled"の"A"）とアングルのついていないBキャビネット（Bキャビネットの"B"は"Base"の"B"=下段に使用していたから）が誕生しました。

これら2つのキャビネットはAもBも同じ12インチ・スピーカーが4台搭載されていますが、出てくる音は若干異なります。一般的にAキャビネットはスピーカー2台が上を向いているため音に広がりがあり、にぎやかな感じがあります。また、遠くまで音が届く性質があります。一方、Bキャビネットはアングルがついていないため、Aキャビネットより質量が大きく、スピーカーが4台ともほぼ正面を向いていること（若干角度が付いています）により中低域が引き締まった聞こえ方がします。

このふたつの傾向はすべてのA&Bキャビネットに共通で、425キャビネットなどには特に違いが現れます。ハーフ・スタック（2段積み）のキャビネットはAキャビと決まっているわけではありません。用途と好みを考慮してAかBかをお選びになってください。

スピーカーの数とキャビネットの大きさ

搭載されているスピーカーの数は音質を左右する重要な要素です。同じワットテージのヘッドで鳴らし比べた場合、スピーカーの数が多い方がより大きい音圧感を得ることができます。ビート・タウンゼンドが8×12"のアイデアを出したのもうなずけます。また、音圧感が増大するだけでなく、音の広がり感も増します。

また、スピーカーを納めるキャビネットの大きさも音質に影響を与えます。寸法が大きいほど低音が出やすく、例えば、同じスピーカーを4台搭載している1960AXと1960TVを比較した場合、1960TVのほうが低音が出やすくなっています。

マーシャルの2×12"（1936、1922など）、1×12"（1912など）は4×12"キャビネットに比較すればスピーカーの数もキャビネットの大きさも小規模になりますが、音圧感も低音の出方も想像を超えるものがあります。

スピーカーの種類

キャビネットのサイズや構造が同じでもスピーカーの種類が異なれば当然音質も変わってきます。

ワールド・スタンダードなキャビネット1960に搭載されているCelestion G12T-75は高域と低域が際立った幾分ドンシャリ気味のサウンドを演出します。また1960Xに搭載のCelestion Greenbackのリイシュー、G12M-25は粘っこい中域とワイルドな高域が魅力です。人気のCelestion Vintageは高域から低域までバランスの取れたサウンドを持ち、高域が抜けるサウンドです。また、VintageModern用に開発された425キャビネットに使用されているCelestion G12C-25はビンテージサウンドの肝である中域を強調した分厚いサウンドを演出します。このように目的にあったスピーカーが搭載されたキャビネットを選択することが肝要です。

入力について

搭載されているスピーカーの種類と数によって許容入力異なります。ご使用のアンプにマッチしたキャビネットをご使用ください。

フル・バルブ・アンプを大音量で使用する場合、キャビネットの入力は最低でもアンプの出力の2倍の容量を確保しておくべきです。フル・バルブ・アンプは弾き方によってピーク時には定格出力をはるかに超えた信号をキャビネットに送り出すことがあるからです。例えば、1959SLP（出力100W）を1960AX（入力）1台につないで大音量で弾いた場合、過入力によりスピーカーを損傷する恐れがあります。この場合は、スピーカー・キャビネットを増設して（3段積みにして）入力を分散させるか、ボリュームを絞ってお使いください。アッテネーターを使用するのもひとつの方法ですが、もしご使用になる場合は、マーシャルの場合、未使用時の音量と比較して聴感上半分程度音量を下げる程度に留めておいてください。アッテネーターはマスター・ボリュー

ムではありません。極端なアッテネーションはアンプをいためる大きな原因となりますので絶対に避けてください。

トランジスタ・パワー・アンプの場合(MG等)は定格出力以上の信号はキャビネットに送り出されないで出力通りの入力のキャビネットをご用意いただけます。

インピーダンス・マッチング

スタックを組む場合、インピーダンス・マッチングが非常に大切です。誤って使用すると音質が低下するばかりでなく、アンプやスピーカーを損傷することがありますのでご注意ください。

●フルバルブ・ヘッドの場合

使用するキャビネットが1台の場合は、キャビネットの入力インピーダンスと同値の出力で結線します。例えば1960キャビネットを1台使用する場合、1960の入力インピーダンスは16Ωですから、アンプ側も16Ωのスピーカーアウト端子から出力します。8Ωキャビネットが1台の時は当然8Ωで出力します。ビンテージ系のヘッドを除き、基本的にマーシャルのアンプ・ヘッドは16Ωで使用することをおすすめしています。

それでは、フル・スタックのように同じ入力インピーダンスのキャビネットを2台同時に使用する場合はどうすればよいのでしょうか？ この場合は、「キャビネットの入力インピーダンスを使用するキャビネットの数で割った値で出力する」という公式があります。すなわち、16Ωキャビネットを2台使用する場合、 $16 \div 2 = 8\Omega$ となります。8Ωで双方のキャビネットに出力してあげてください。異なったインピーダンスのキャビネットを混合して使用する場合にはこの公式は適用されませんのでご注意ください。

●トランジスタ・ヘッドの場合（MGシリーズ、MBシリーズ等）

トランジスタ・ヘッドとキャビネットのインピーダンス・マッチングの方法もフル・バルブ・ヘッドの場合と同様ですが、1つ注意すべきことがあります。

フル・バルブ・ヘッドの場合は、前述の通り使用するキャビネットのトータル・インピーダンスにヘッドのインピーダンス値を合わせて使用しますが、トランジスタ・ヘッドの場合には、「キャビネットのトータル・インピーダンス値が、トランジスタ・ヘッド側で予め設定されているMin(ミニマム)インピーダンス未満にならないこと」という鉄則があります。

例えば、スピーカー出力ジャックを2つ備え、Minインピーダンス値が4Ωであるトランジスタ・ヘッドに、インピーダンス値が4Ωのキャビネットを接続する場合を考えて見ましょう。

!キャビネットを1台接続して使用する場合

この場合のキャビネットのトータル・インピーダンスは4Ωですので、ヘッドのMin値以上のインピーダンスとなるため接続が可能です。

*キャビネットを2台接続して使用する場合

この場合はキャビネットのトータル・インピーダンスは、前述の公式により2Ωとなります。そのためキャビネットのトータル・インピーダンス値がヘッドのMinインピーダンス値未満となってしまうため、接続できないということになります。

コンボのエクステンション・キャビネット

コンボ・アンプにエクステンション・スピーカーを増設する場合も上記に則って結線します。インターナル・スピーカーを併用する場合はその入力インピーダンスを確認しておく必要があります。

ヘッドとのコンビネーション

ルックスは似通っていてもこのようにキャビネットはそれぞれ独自のサウンド・キャラクターを持っています。一般的にスタックといえば1960Aとの組み合わせを連想しますが、当然組み合わせはこればかりではありません。例えばJVMにMF280をつないで低域を稼いでより迫力のあるサウンドを作ったり（ケリー・キングの2203KKとMFキャビネットがよい例といえましょう）、中域が得意なVintageModernヘッドに1960Vキャビネットをつないで抜けるよい高域を混ぜてみたりと組み合わせは自由です。ここにも自分だけのサウンドをクリエイトするカギが隠されています（いずれの場合も上記の入力とインピーダンス・マッチングには十分に注意してください）。キャビネットは楽しい！

1912

JCM900シリーズの1×12"コンボのエクステンション・キャビネットであった1912。1×12"小型スピーカー・キャビネットの傑作としてマーシャルのラインナップに現在名を連ねています。1936や1922もサイズのわりに低音が豊かであることが特長ですが、この1×12"キャビネットを鳴らした瞬間、超ド級の低音に耳を疑うことでしょう。ラック・システムにおすすめのスピーカー・キャビネットです。



1922

1922はJCM900シリーズの2×12"コンボのエクステンション・キャビネットとして開発されました。スピーカーやインプット部の仕様は1936と同じですが、サイズが若干コンパクトになっており、まさにラック・システムに最適な2×12"キャビネットです。1922もサイズの割には低音が豊かで、小型キャビネットの泣き所である低音の貧弱さを鮮やかに解決しています。



1936

1960を水平に切った2×12"バージョンが1936です。ラック・システム用のスピーカー・キャビネットとして最適なばかりでなく、50W程度のフル・バルブ・ヘッドと組み合わせて小規模なスタックを構成することもできます。サイズの割には低音の出方も十分に伸びやかな高音とあいまって構成される音のパノラマは2×12"を忘れさせます。



1936V

1936にCelestion G12 Vintageスピーカーを搭載したのが1936Vです。1960と1960Vの違いと同じように1936Vは1936に比べてフラットなサウンド・キャラクターを持っています。その差は4×12"より顕著で、ややドンシャリ系のサウンドがお好みなら1936を、高域から低域までバランスのよいフラットなサウンドを狙うなら1936Vです。



仕様	1912	1922	1936	1936V	MF280B
スピーカー	Celestion G12B-150	Celestion G12T-75 x 2	Celestion G12T-75 x 2	Celestion G12 Vintage 70Watt x 2	Celestion 12" x 4
許容入力	150Wrms	150Wrms	150Wrms	140Wrms	280Wrms
インピーダンス	MONO ONLY 8Ω	16Ω: STEREO 8Ω: MONO	16Ω: STEREO 8Ω: MONO	16Ω: STEREO 8Ω: MONO	16Ω
サイズ(mm)	510W x 465H x 290D	675W x 515H x 260D	750W x 600H x 305D	750W x 600H x 305D	760W x 910H x 360D
重量(Kg)	14.6	19	24.6	24.6	42.5

仕様	425ABL/BBL	1960A/B	1960TV	1960AX/BX	1960AV/BV
スピーカー	Celestion G12C-25 x 4	Celestion G12T-75 x 4	Celestion G12M-25 x 4	Celestion G12M-25 x 4	Celestion G12 Vintage 70Watt x 4
許容入力	100Wrms	300Wrms	100Wrms	100Wrms	280Wrms
インピーダンス	8Ω/8Ω: STEREO 16Ω/4Ω: MONO	8Ω: STEREO 16Ω/4Ω: MONO	16Ω	16Ω	8Ω: STEREO 16Ω/4Ω: MONO
サイズ(mm)	770W x 755H x 365D	760W x 830H x 360D	760W x 910H x 380D	760W x 830H x 360D	780W x 830H x 360D
重量(Kg)	Angled A: 36 Base B: 37	Angled A: 36.4 Base B: 37	39	Angled A: 37.7 Base B: 38.2	Angled A: 40.6 Base B: 41.4

*キャビネットに接続せずに演奏すると、回路に非常に負担がかり、アンプ・ヘッドの故障の原因となります（JVMシリーズのサイレント・レコーディングを除く）。いかなる場合も必ず所定のキャビネットに接続したうえで使用してください。

Extension Cabinets

1960

今日、世界中で一体何台このスピーカーが使われていることでしょうか。世界でもっともポピュラーな4×12"キャビネット1960。マーシャルを代表する「音」といえるスピーカー・キャビネットのスタンダードです。モノラルで16Ω、4Ω、ステレオで8Ω（タテに2台ずつスピーカーが稼働します）で使用することができます。入力も300Wと100Wフル・バルブ・ヘッドも余裕で受け止めます。音質的には高低域が際立っており、様々なコンテンツポラリィな音楽にマッチする究極のオールマイティ・キャビネットです。



1960V

左下のブラークを除きルックスは1960と同じですが、搭載しているスピーカーが異なり、1960VにはCelestion Vintageが採用されています。このため、1960Vは1960に比べると高域から低域までバランスの取れたフラットで粒立ちのよい輪郭のハッキリした分厚い音をクリエイトします。



1960X

印象的なLCフレットにレバント・カバリング…レッド・ツェッペリンやディープ・パープルに代表される70年代のハードロックで育った方にはおなじみのルックスです。搭載されているスピーカーは通称グリーンバック。どんなに優秀なモデリング・アンプでも決して真似の出来ないビンテージ・アンプ特有の美しい中域とどこまでも突き抜ける高域をクリエイトします。入力が100Wであるため、1959、JCM、JVM等のフルバルブ100Wヘッドを組み合わせて大音量で使用するとスピーカーを損傷する可能性があります。3段積みにして入力を分散させるか、大音量でのご使用をお控えください。



425BL

VintageModernの発売に合わせて発表された4×12"キャビネット。VintageModernは徹底してビンテージ・トーンの再生を追求したシリーズです。その音質的な特徴は中域にあります。そのアンプ・ヘッドにベスト・マッチさせるために設計されたのが425BLです。搭載されたCelestion G12C-25はジミ・ヘンドリックス・シグネチャー・リイシューSUPER100JHIに使用されたものと同一です。この分厚い中域は他のキャビネットでは真似できません。名前は25Wスピーカーが4台搭載されていることに由来しています。



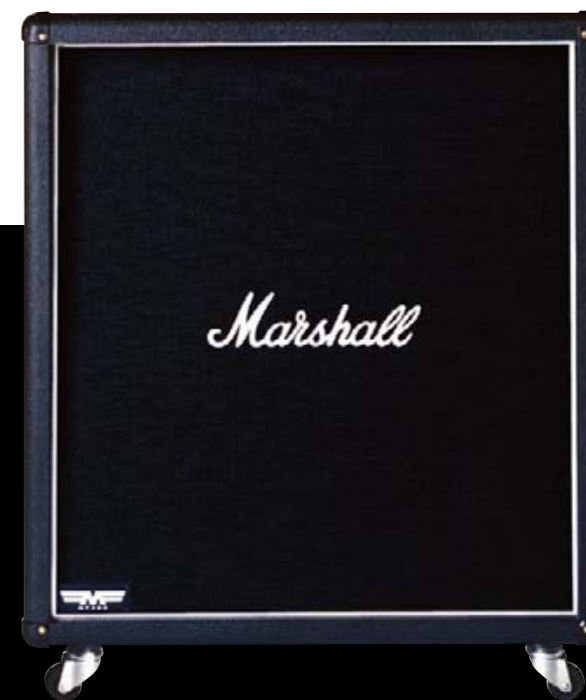
1960TV

搭載しているスピーカーは1960Xと同じCelestion G12M-25 グリーンバックですが、他の1960Xに比べて3インチほど高いデザインになっています。その結果、1960Xより格段に低音の出方が際立っています。1960TVはアングルド・タイプのみでストレート・タイプは存在しません。マーシャルの第1号モデル、JTM45のリイシュー（2245）など小出力のフル・バルブ・アンプヘッドとの組み合わせは絶妙です。



MF280B

大音量、激歪み、重低音をクリエイトするために生を受けたMODEFOURシリーズ用のキャビネットです。重低音を実現するために通常の1960より約3インチ背高に作られており、音の立ち上がりを鋭くするために専用のスピーカーを搭載しています。JVMや2203KK等のフル・バルブ・ヘッドと組み合わせて「図太い歪み+重低音」をお楽しみいただけます。



*写真はAキャビネットのみですが、1960TVを除き、すべてBキャビネットをご用意しています。また、MFキャビネットはMF280Bのみの販売となります。

*MGシリーズ等、この他にもスピーカー・キャビネットをラインナップしています。当カタログの他のページをご参照ください。

永遠のベストセラー、マーシャルMG。「進化」、「機能」、「音質」…マーシャルのソリッド・ステート・アンプ・シリーズ、新しいMGを表現するときこれらのキーワードが浮かんでくるでしょう。長年にわたるアナログ・アンプのノウハウと最新デジタル技術の合体の結果がビギナー向けからプロ・ユースまでのモデルをラインナップしたこのMGシリーズです。MG10、MG15のパワーアップしたシンプルにしてラウドなマーシャル・トーン。MG15FXをはじめとするラインナップに採用されたデジタル・エフェクツの抜群のクオリティ、使いやすく視認性に富んだフットコントローラー、多彩な4つのチャンネル等々新しいMGの魅力は尽きることを知りません。ポータブルな2Wコンボから興奮の100Wヘッドまでマーシャルが自信を持って送りする充実のシリーズ。第4世代となる生まれ変わったMGは驚くばかりのパフォーマンスを詰め込み、シチュエーションに合わせたフレキシブルなラインナップを用意しました。



MG2FX

ポータブルな2Wマーシャル! 単二電池6本もしくは9V ACアダプターで駆動します。

下に記載されている充実した機能もさることながら、何といてもMG2FXの自慢はそのサウンドです。ポータブルでもギター・アンプはギター・アンプ。いくらコンパクトで機能が充実していても音がよくなければ本末転倒です。MG2FXのサウンドの秘密は「アナログ」。ギター・アンプを熟知したメーカーだからこそアナログ回路にこだわりました。だから弾いて気持ちいい! つまりこのサイズやワット数でもピッキングのニュアンスやダイナミクスを存分に表現することができます。大勢のプロギタリストからも大絶賛を頂戴しています。

- CLEAN×1、CRUNCH×3、OD1×3、OD2×3の10のモードでバラエティに富んだサウンド・メイクが可能
- ディレイ、リバーブ、モジュレーション系（コーラス、フェイザー、フランジャー）のデジタル・エフェクツを搭載
- ディレイ、リバーブ、モジュレーション1種を個々にアジャストし同時にかけることができます
- ダブル・ファンクションの採用によりコントロール・ノブの数を最小限に留めました（ボタンを押している間だけ、各ノブがベース、トレブル、リバーブ、ディレイの機能をはたします）。
- タップ・テンポ搭載でディレイ・タイムのセットがラ〜クラク
- クロマチック・チューナー内蔵
- ヘッドホン端子搭載
- MP3プレイヤー等外部音響機器が接続できるライン・イン端子つき（ミニジャック）

※MG2FXはいずれのフットスイッチも使用することができません。

ギターを始めたばかりの人も、経験を積んだプレイヤーも練習の重要性についてあまり言及されることはないかも知れません。世の中には良質な教則本やDVDが出回っていますが、カッコいいリフをキメたり究極のギターソロを披露するためには腕を磨く時間が必要となります。またその練習においてもしっかりとした機材で臨んだ方が良いことはまちがいありません。

そんな時に重宝するのがMG10やMG15です。2つのチャンネルから繰り出されるマーシャル・トーンはそのルックスをはるかに上回るパワフルなものです。MG10にはマーシャルではおなじみのEQコントロール、コンツァーを搭載。一方、MG15はベース、ミドル、トレブルのコントロールを擁し、それぞれ緻密な音づくりを可能としています。

MGシリーズの全モデルにMP3やCDプレイヤーのインプットを設けました。ギターの音量にプレイヤーの音量を合わせてプレイすればお気に入りの音源と共演することができます。（アンプ側でプレイヤー単体の音量を調整することはできません）また、ヘッドホン・インプットも装備されています。このふたつの機能を利用すれば最強の練習ツールになること請け合いです。

MG10

伝統の10Wモデル。クリーンとオーバードライブの2チャンネル、中域をコントロールするおなじみのコンツァーで好みのサウンドをゲット。10Wとは信じ難いラウドなマーシャル・サウンドがさらにパワーアップしました! MP3インプットやヘッドホン・ジャックの搭載もうれしい、レベルを問わない練習アンプとして最適な1台!



MG10

MG SERIES 10W 2ch
1x6.5 COMBO

FUNCTIONS

Front Panel : CLEAN VOLUME, CHANNEL SW, OD GAIN, OD VOLUME, CONTOUR, HEADPHONE SOCKET (SPEAKER EMULATED), MP3/CD LINE IN

MG15

ワット数をアップさせただけでなく8インチ・スピーカーや3バンドEQを搭載し、より本格的なサウンドをクリエイトするMG10の上位機種です。デジタル・エフェクツを必要とせず、シンプルにしてしっかりと小型アンプをお探しの方には最適のモデルです。



MG15

MG SERIES 15W 2ch
1x8 COMBO

FUNCTIONS

Front Panel : CLEAN VOLUME, CHANNEL SW, OD GAIN, OD VOLUME, BASS, CONTOUR, TREBLE, HEADPHONE SOCKET (SPEAKER EMULATED), MP3/CD LINE IN

仕様	MG2FX	MG10	MG15
実効出力	2Wrms	10Wrms	15Wrms
スピーカー	6.5" x 1	6.5" x 1	8" x 1
サイズ(mm)	260W x 263H x 175D	295W x 315H x 175D	382W x 379H x 205D
重量 (Kg)	3.1	4.8	7.4

MG2FX

MG SERIES 2W 1x6.5
DIGITAL EFFECTS COMBO

FUNCTIONS

Top Panel : MODE (CLEAN/CRUNCH/OD1/OD2) : BASS, GAIN : TREBLE, FX (CHORUS/PHASER/FRANGER) : REVERB, VOLUME : DELAY, PRESET/TUNER DIGITAL DISPLAY , TAP : SHIFT SW (HOLD TUNER)
Rear Panel : HEADPHONE SOCKET (SPEAKER EMULATED), MP3/CD LINE IN

MG Series

MG15FXとMG30FXはその名が示すとおりデジタル・エフェクツを搭載した小〜中型のモデルです。その種類は美しいコーラス、サイケなフェイザー、ファンキーなフランジャー、そして幻想的なディレイの4つ。調整の仕方はいたってシンプル。「FX」のノブを回してお好みのかかり具合に合わせるだけ。ディレイに至っては「Tap」を2回押し間隔がそのままディレイ・タイムとなるシステムを採用しました。また、それらの4つのエフェクターとは別にリバーブを独立して搭載したことも見逃せません。自慢はエフェクターだけではありません、それは4つのマーシャル・トーン。MG15FXとMG30FXはクリーン/クランチ/OD1/OD2となんと4つのチャンネルを備えているのです。クリスタルなクリーン、ゴージャスなクランチ、そして疾風迅雷のディストーションまでを網羅し、驚くべきことにFXと併せてそのセッティングをそれぞれのチャンネルにメモリーさせ、ただちにあなたのお気に入りのマーシャル・トーンを呼び出すことができるのです。

MG15FX

4つのチャンネルとデジタル・エフェクツ、独立リバーブ、チューナー内蔵、そしてフル・プログラマブル（マスター・ボリュームをのぞく）という高価機種でなければ実現できなかった機能を満載！フル・アナログのマーシャル・サウンドの迫力と最新テクノロジーの合体がとんでもない代物を誕生させました！



MG15FX

MG SERIES 15W 4ch 1x8
DIGITAL FX PROGRAMMABLE COMBO

FUNCTIONS

Front Panel : CLEAN : CRUNCH SW, OVERDRIVE SW, GAIN, BASS, MIDDLE, TREBLE, REVERB, VOLUME, FX SELECT (OFF/CHORUS/PHASER/FLANGER/DELAY), MASTER, TAP (MANUAL) SW, STORE SW, MP3/CD LINE IN, HEADPHONE SOCKET (SPEAKER EMULATED), FOOTCONTROLLER JACK
Footcontroller: PEDL90008 (別売)

MG15FXMS

MG SERIES 15W 4ch
DIGITAL FX PROGRAMMABLE MICRO STACK

FUNCTIONS

Front Panel : CLEAN : CRUNCH SW, OVERDRIVE SW, GAIN, BASS, MIDDLE, TREBLE, REVERB, VOLUME, FX SELECT (OFF/CHORUS/PHASER/FLANGER/DELAY), MASTER, TAP (MANUAL) SW, STORE SW, MP3/CD LINE IN, HEADPHONE SOCKET (SPEAKER EMULATED), FOOTCONTROLLER JACK
Footcontroller: PEDL90008 (別売)

仕様	MG15FX	MG15FXMS
実効出力	15Wrms	15Wrms
スピーカー	8" x 1	(10" x 1) x 2
サイズ(mm)	382W x 379H x 205D	385W x 960H x 240D
重量 (Kg)	7.7	18.7

MG15FXMS

MG名物マイクロ・スタック。MG15FXをヘッドに据え、1×10"キャビネットを2台重ねたフルスタックです。ルックスだけでなく、魅力はそのサウンド。スピーカー2台を駆動させることにより一層ラウドでスペクタクルなサウンドをクリエイトします。(セット販売のみ)



MG30FX

MG30FXには10インチ・スピーカーが搭載されています。MG15FXの機能や操作性はそのままに出力を倍増させたモデルです。30W出力ともなるといよいよ自慢のアナログ・マーシャル・トーンも際立ち、ギタリストの創造性を駆り立てます。今回の30Wは完全クローズド・バック仕様となりました。

仕様	MG30FX	MG50FX
実効出力	30Wrms	50Wrms
スピーカー	10" x 1	12" x 1
サイズ(mm)	480W x 420H x 225D	518W x 494H x 278D
重量 (Kg)	10.8	16.6

バラエティに富んだMGシリーズを締めくくるのは50W&100Wコンボと100Wヘッドです。「--FX」シリーズのすべてのフィードバックを搭載しド迫力の音像を作り出すのがMG50FX、101FX、102FX、そして100HFXたちです。これらのモデルは出力が大きくなっただけでなく、今度はデジタル・ディレイが独立。つまり、リバーブ、ディレイ、3つのモジュレーション（コーラス、フェイザー、フランジャー）のうちのひとつを同時にかけることができるのです。さらに、フットスイッチで制御可能なエフェクト・ループやマーシャルMGのお家芸、ダンピング・スイッチも装備。パワーアンプ段で中域を強調したビンテージ・トーンと高低域を強調したコンテンポラリーなトーンが選択できます。また、フロント・パネル上のヘッドホン・ジャックはライン・アウト機能も兼ねており、使用する際には内蔵スピーカーがキャンセルされサイレント・レコーディングを可能にします。

MG50FX

50W以上のモデルはディレイが独立します。スピーカーは12インチで、センド&リターン回路も搭載。さらにMGシリーズお家芸のダンピング・スイッチがパワー・アンプの働きに変化をもたらし、中域の張り出したビンテージ・トーンと高低域を強調したコンテンポラリー・トーンがチョイスできます。



MG30FX

MG SERIES 30W 4ch 1x10
DIGITAL FX PROGRAMMABLE COMBO

FUNCTIONS

Front Panel : CLEAN : CRUNCH SW, OVERDRIVE SW, GAIN, BASS, MIDDLE, TREBLE, REVERB, VOLUME, FX SELECT (OFF/CHORUS/PHASER/FLANGER/DELAY), MASTER, TAP (MANUAL) SW, STORE SW, MP3/CD LINE IN, HEADPHONE SOCKET (SPEAKER EMULATED), FOOTCONTROLLER JACK
Footcontroller: PEDL90008 (別売)

MG50FX

MG SERIES 50W 4ch 1x12
DIGITAL FX PROGRAMMABLE COMBO

FUNCTIONS

Front Panel: CLEAN : CRUNCH SW, OVERDRIVE SW, GAIN, BASS, MIDDLE, TREBLE, REVERB ON/OFF SW, REVERB, VOLUME, FX SW (ON/OFF), MODULATION (CHORUS/PHASER/FLANGER), TAP SW, DELAY, EXT FX SW, MASTER, DAMPING (MANUAL) SW, STORE SW, HEADPHONE/LINE OUT SOCKET (SPEAKER EMULATED)
Rear Panel: FOOTCONTROLLER JACK, LOUDSPEAKER OUT JACK, MP3/CD LINE IN, FX SEND JACK, FX RETURN JACK
Footswitch: PEDL90010 (付属)
Footcontroller: PEDL90008 (別売)



MG101FX

今回のMG100Wコンボは2種類。MG101FXは12インチ・スピーカーを1基搭載したコンパクト・バージョンです。機能はMG50FXと同じですが、さすが100W！大地を切り裂くサウンドが迫力のライブ・パフォーマンスを演出します。

MG102FX

MG101FXの2×12"バージョンがMG102FXです。12インチ・スピーカーをもう1台増設しただけでなく、キャビネットの体積が増すことにより、サウンドの奥行きと厚み、広がりや質感が倍増されます。MG101FXより押しの強いサウンドをお求めの方にはおすすめです。(MG102FXはステレオではありません)



MG100HFX & MG412A/B

スタックはマーシャルのシンボル。ステージでの映え方が違います。スタックの良さはルックスだけではなく、やはりその最大の魅力は4×12"キャビネットから繰り出される迫力のサウンドです。スタック派の皆さんに今回のMGもヘッド、Aキャビ、Bキャビをご用意いたしました。MGシリーズのスピーカー・キャビネットはMG412AとMG412B。モンスター・ヘッドMG100HFXの特性を十分に活かすClestone製スピーカーが搭載されています。リーズナブルな価格でマーシャル・スタックをゲットするチャンスです。



フットコントローラー PEDL90008

JVMシリーズの開発で培ったマーシャル独自のフットコントローラーの技術、Stompware™テクノロジーがMGにも活かされています。チューナー内蔵の別売りの専用フットコントローラーの4つのスイッチにはMG本体のフロント・パネルのすべてのスイッチをアサインすることや、プリセットされた内容をメモリさせいつでも呼び出す機能があります。また、コントローラーのLEDはアンプ本体がどのような状態にあるかを示します。

チューナーとして使用する場合には入ってきた信号にもっとも近い音階をデジタル・ディスプレイが表示し、LEDのライトがピッチのズレを表現します。そして、このフットコントローラーとMG本体をつなぐのは通常のギター・ケーブル。ケーブルの断線時にも交換が容易だけでなく、プレイする場所に合わせたケーブルを使用すれば足元もスッキリ！



仕様	MG412A	MG412B
スピーカー	12" x 4	12" x 4
許容入力	120W	120W
インピーダンス	8Ω	8Ω
サイズ(mm)	695W x 675H x 360D	695W x 675H x 360D
重量 (Kg)	23.5	24

仕様	MG101FX	MG102FX	MG100HFX
実効出力	100Wrms	100Wrms	100Wrms
スピーカー	12" x 1	12" x 2	—
サイズ(mm)	595W x 540H x 280D	675W x 505H x 280D	595W x 255H x 280D
重量 (Kg)	20	22.4	11.4

MG101FX

MG SERIES 100W 4ch 1x12
DIGITAL FX PROGRAMMABLE COMBO

FUNCTIONS

Front Panel: CLEAN : CRUNCH SW, OVERDRIVE SW, GAIN, BASS, MIDDLE, TREBLE, REVERB ON/OFF SW, REVERB, VOLUME, FX SW (ON/OFF), MODULATION (CHORUS/PHASER/FLANGER), TAP SW, DELAY, EXT FX SW, MASTER, DAMPING (MANUAL) SW, STORE SW, HEADPHONE/LINE OUT SOCKET (SPEAKER EMULATED)

Rear Panel: FOOTCONTROLLER JACK, LOUDSPEAKER OUT JACK, MP3/CD LINE IN, FX SEND JACK, FX RETURN JACK

Footswitch: PEDL90010 (付属)

Footcontroller: PEDL90008 (別売)

MG102FX

MG SERIES 100W 4ch 2x12
DIGITAL FX PROGRAMMABLE COMBO

FUNCTIONS

Front Panel: CLEAN : CRUNCH SW, OVERDRIVE SW, GAIN, BASS, MIDDLE, TREBLE, REVERB ON/OFF SW, REVERB, VOLUME, FX SW (ON/OFF), MODULATION (CHORUS/PHASER/FLANGER), TAP SW, DELAY, EXT FX SW, MASTER, DAMPING (MANUAL) SW, STORE SW, HEADPHONE/LINE OUT SOCKET (SPEAKER EMULATED)

Rear Panel: FOOTCONTROLLER JACK, LOUDSPEAKER OUT JACK, MP3/CD LINE IN, FX SEND JACK, FX RETURN JACK

Footswitch: PEDL90010 (付属)

Footcontroller: PEDL90008 (別売)

MG100HDFX

MG SERIES 100W 4ch
DIGITAL FX PROGRAMMABLE AMP HEAD

FUNCTIONS

Front Panel: CLEAN : CRUNCH SW, OVERDRIVE SW, GAIN, BASS, MIDDLE, TREBLE, REVERB ON/OFF SW, REVERB, VOLUME, FX SW (ON/OFF), MODULATION (CHORUS/PHASER/FLANGER), TAP SW, DELAY, EXT FX SW, MASTER, DAMPING (MANUAL) SW, STORE SW, HEADPHONE/LINE OUT SOCKET (SPEAKER EMULATED)

Rear Panel: FOOTCONTROLLER JACK, LOUDSPEAKER OUT JACK, MP3/CD LINE IN, FX SEND JACK, FX RETURN JACK

Footswitch: PEDL90010 (付属)

Footcontroller: PEDL90008 (別売)

MG412A/ B

MG SERIES 4x12 SPEAKER CABINET
ANGLED TYPE / BASE TYPE

FUNCTIONS

Front Panel: CLEAN : CRUNCH SW, OVERDRIVE SW, GAIN, BASS, MIDDLE, TREBLE, REVERB ON/OFF SW, REVERB, VOLUME, FX SW (ON/OFF), MODULATION (CHORUS/PHASER/FLANGER), TAP SW, DELAY, EXT FX SW, MASTER, DAMPING (MANUAL) SW, STORE SW, HEADPHONE/LINE OUT SOCKET (SPEAKER EMULATED)

Rear Panel: FOOTCONTROLLER JACK, LOUDSPEAKER OUT JACK, MP3/CD LINE IN, FX SEND JACK, FX RETURN JACK

Footswitch: PEDL90010 (付属)

Footcontroller: PEDL90008 (別売)

AS Series

AS100D

AS100Dはデジタル・エフェクトを内蔵した、エレクトリック・アコースティックギター専用のアンプです。余裕の大出力でエレクトリック・アコースティックギターの生音が持つナチュラルなフィーリングと極めて微妙なニュアンスを再現します。アコースティック・チャンネル1は、ギター専用のチャンネルでミドル・パラメトリックEQを搭載。アコースティック・チャンネル2は、通常の



ギター・インプットに加えバランスドXLRコネクタを装備しており、ボーカル・アンプとして使用することも可能です。アコースティック・チャンネルにはフェイズ・スイッチやハウリング防止に効果を発揮するアンチフィードバック・コントロールなど、多彩な機能を装備しています。マイクロフォン・チャンネルは、内部および外部エフェクト・レベル調整機能を持つボーカル専用チャンネルです。AS100Dは通常のインプット・チャンネルに加え、MP3プレイヤー等のソースを入力できるAUXステレオ・インプット端子も備えていますので、外部音源をバックにして一人でギターを弾きながらボーカルをとるといったパフォーマンスも可能です。

仕様	AS100D	AS50R
実効出力	50+50Wrms	25+25Wrms
スピーカー	Celestion Custom Speaker 8" x 2	Custom Speaker 8" x 2
サイズ(mm)	600W x 540H x 261D	542W x 416H x 261D
重量 (Kg)	21	14.1

AS50D

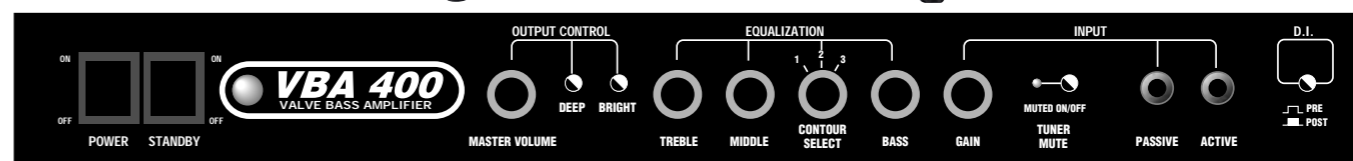
コンパクトなボディが魅力のAS50D。ピエゾ/マグネティック・ピックアップなど、トランスデューサー付の楽器のためのチャンネル1、ボーカルまたは楽器用のマイクロフォンのためのチャンネル2には、MP3プレイヤー等が接続できるAUX入力も用意されています。リバーブ、コーラスやパラレル・エフェクト・ループはもちろん、ハウリングを防止するフェイズ・スイッチやノッチ・フィルターも装備。内部リミッターにより、ディストーションを防止しながら50ワットの出力を最大限まで押し上げることも可能です。ピエゾ・ツイーター [高音用スピーカー] も搭載し、極めて繊細なサウンドが得られます。



VBA Series

マーシャルが、長年にわたるバルブ・アンプのノウハウを結集して完成したベース・アンプ、VBAシリーズ。8本の6550が使用されたパワー部、3本のECC83と1本のECC82により構成されたプリ部が最大級のサウンドを生み出します。よりシンプルに作られたコントロール部では、3ウェイコンツァー・コントロールの採用で、的確なサウンド作りが可能。またスピーカー・キャビネットには、このアンプのために特別にデザインされたカスタム・スピーカーが贅沢に搭載されています。

VBA400



VBC412



VBC810



(AS50D)

FRONT PANEL FUNCTIONS

CHANNEL 1 (Acoustic Instrument) : (標準INPUT) VOLUME, BASS, TREBLE
CHANNEL 2 (MICROPHONE / AUX) : (AUX INPUT, BALANCED XLR INPUT, 標準INPUT) VOLUME, BASS, TREBLE
MASTER SECTION: CHORUS SPEED, CHORUS DEPTH, CHANNEL ASSIGN SW (CH1/CH2), REVERB / LOOP CONTROL (CH1-CH2), REVERB LEVEL, ANTI-FEEDBACK CONTROL (80Hz-1kHz) & NOTCH FILTER SW (PHASE / NOTCH), MASTER VOLUME

REAR PANEL FUNCTIONS

FOOTSWITCH JACK (CHORUS: ON/OFF, REVERB: ON/OFF), EFFECT SEND, EFFECT RETURN (+0dB), LINE OUT, D.I. OUT
Footswitch: PEDL10015 (別売)

AS100D

50+50W
STEREO DIGITAL EFFECTS COMBO

(AS100D)

FRONT PANEL FUNCTIONS

ACOUSTIC CHANNEL 1: (標準INPUT) VOLUME, BASS, MID, MID FREQUENCY (250-2.5kHz), TREBLE, PHASE/GAIN (ON/OFF)
ACOUSTIC CHANNEL 2: (標準INSTRUMENT INPUT) MICROPHONE INPUT (BALANCED XLR) VOLUME, BASS, TREBLE, LINK CH1/CONTOUR/PHASE/ PHANTOM (ON/OFF)
MICROPHONE CHANNEL: (BALANCED XLR INPUT) VOLUME, BASS, TREBLE, INT. FX VOLUME, EXT. FX VOLUME, PHASE/PHANTOM (ON/OFF)
STEREO DIGITAL EFFECTS: PROGRAM 1-16, ADJUST (0-10), LEVEL (0-10) 1-3 HALLS, 4-6 ROOMS, 7-9 PLATES, 10 NON LINEAR, 11 CHORUS,

AS50D

25+25W CHORUS/REVERB
STEREO COMBO

12 FLANGE, 13 DELAY, 14 CHORUS ROOM, 15 CH/DLY/ROOM, 16 MODULATION
AUX INPUT: (RCA L/R) VOLUME
ANTI-FEEDBACK: ON/DEPTH (ON/OFF), SWEEP 1 (50-250Hz), SWEEP 2 (60-650Hz), INT.FX/EXT.FX (ON/OFF) **MASTER SECTION**: VOLUME

REAR PANEL FUNCTIONS

FOOTSWITCH JACK (EFFECTS 1-16, ON/OFF), EFFECTS LOOP: EFFECT SEND, LEVEL CONTROL, EFFECT RETURN (L(MONO) /R), D.I. OUT (L/R BALANCED XLR), LINE OUT (標準 L/R)
Footswitch: PEDL10001 (付属)



VBA400

400W
VALVE BASS AMP HEAD

VBC412

4x12
SPEAKER CABINET

VBC810

8x10
SPEAKER CABINET

FRONT PANEL FUNCTIONS

Inputs: ACTIVE, PASSIVE
Functions: D.I. SELECT SW (PRE/POST), TUNER MUTE SELECT SW, GAIN, BASS, CONTOUR SELECT, MIDDLE, TREBLE, MASTER VOLUME, DEEP SW, BRIGHT SW

REAR PANEL FUNCTIONS

Output: TUNER OUTPUT, D.I. OUTPUT (NORMAL/EARTH LIFT)
Effect Loop: SEND, RETURN
Loudspeaker Outputs: 4Ω専用OUT x 1, 2Ω専用OUT x 1, IMPEDANCE SELECT SW (2/4Ω)
Others: FAN SPEED SELECT SW (LOW/HIGH)

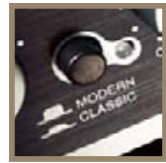
仕様	VBA400	VBC810	VBC412
プリ管	ECC83 x 3, ECC82 x 1	—	—
パワー管	6550 x 8	—	—
実効出力	400Wrms	—	—
許容入力	—	640Wrms (4Ω)	400Wrms (4Ω)
スピーカー	—	Custom Speaker 10" x 8	Custom Speaker 12" x 4
サイズ(mm)	670W x 275H x 325D	675W x 1225H x 410D	765W x 760H x 383D
重量 (Kg)	36	68.5	44

MB Bass Series

マーシャルが自信を持って新たにお送りする2チャンネルのベース・アンプ・シリーズがこのMBです。徹底的に新しい設計を導入したこの野性味あふれるベース・アンプたちは想像をはるかに超える素晴らしいトーンとプロ仕様の機能が盛り込まれています。開発にあたってマーシャルのR&Dチームは「マーシャルならではの」ベース・トーンを編み出すことに心血をそそぎました。クラシック・チャンネルはこれぞマーシャルと言う、いにしへのヘビーなトーンを、そしてモダン・チャンネルは超クリスタル・トーンを生み出します。60W以上のモデルにはクラシック・チャンネルのプリ・アンプ部にECC83バルブを搭載、また全てのモデルにはクリッピングからパワー・アンプを守るコンプレッサーを搭載しています。ビギナーからプロフェッショナルまで、様々なレベルやスタイルのプレイヤーにご満足いただけるベース・アンプシリーズです。



Voice Shift はEQの帯域構成を瞬時に再編成し、ビンテージ・ベースのクラシック・トーンからアグレッシブでモダンなトーンまでバラエティ豊かなサウンドづくりを可能にします。



ズシリと来るModernチャンネルのクリーン、咆哮するClassicチャンネルの歪み…全MBシリーズは2チャンネルで構成されています。



内蔵のコンプレッサーは低域をスムーズに演出する一方、パワーアンプのクリップを防ぐ働きをします。



フットスイッチでコントロール可能なBlend機能は、2つのチャンネルのトーンを混ぜ合わせることができ、プレイヤーのオリジナル・ハイブリッド・トーンをつくることができます。



MB15

シリーズ最小のモデルですが、1×8"スピーカーから飛び出す力強いサウンドは驚異的ですからあります。2チャンネル、コンプレッサー、エミュレイテッド・ラインアウト&ヘッドホンと搭載機能も充実。最高のエントリー・モデルであるばかりでなく、上級者のセカンド・アンプとしても抜群のコストパフォーマンスを誇っています。



MB30

MB15同様の2チャンネル仕様で10"スピーカーを1台搭載しています。練習用アンプとしても最適ですが、小規模なギグでも抜群の威力を発揮します。MB30には「Voice Shift」やエフェクト・ループが搭載されており、よりバラエティに富んだサウンドづくりが可能です。別売りのフットスイッチでチャンネルを切り替えることができます。



MB60

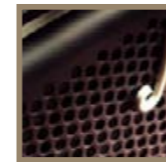
60Wコンボは1×12"スピーカーを搭載、可搬性にも優れ、リハーサルや小規模なクラブなどでのギグに最適です。「Modern」と「Classic」の2チャンネルを有し、それぞれのチャンネルに独立したEQ回路を搭載しました。ECC83で駆動する「Classic」チャンネルのプリアンプが生み出すボトムエンドは特筆ものです。両チャンネルは付属のフットスイッチでセレクトできるためバーサタイルなプレイが可能です。

MB150

混ざり気のないピュアな150Wトーンを演出する大きな要素は搭載された1×15"スピーカーです。そのサウンドも機能も完全にプロフェッショナル・プレイヤーの要求に応えられる仕様に仕上げました。MB150も「Classic」チャンネルはプリアンプをECC83で駆動させ超ド級のボトムエンドを演出します。両チャンネルは付属のフットスイッチでセレクトできるためバーサタイルなプレイが可能です。



MB60以上のモデルのプリアンプはECC83が搭載されており、Classicチャンネル選択時に威力を発揮します。



カスタム・メタル・グリルがそのサウンドにふさわしい頑丈なルックスを際立たせます。



MB15

MB SERIES 15W 2ch 1x8 BASS COMBO

FUNCTIONS

Front Panel: INPUT JACK, CD INPUT JACK, EMULATED LINE OUT JACK, HEADPHONE JACK, CH SELECT SW
modern CH: VOLUME, COMPRESSOR (ON/OFF SW)
modern/classic ch共通: BASS, VOICE, TREBLE

MB30

MB SERIES 30W 2ch 1x10 BASS COMBO

FUNCTIONS

Front Panel: INPUT JACK, CD INPUT JACK, HEADPHONE JACK, CH SELECT SW
modern CH: VOLUME, COMPRESSOR (ON/OFF SW)
classic CH: GAIN, VOLUME
modern/classic ch共通: BASS, VOICE SHIFT (1/2/3), VOICE, TREBLE
Rear Panel: EMULATED LINE OUT JACK, FX LOOP JACK
Footswitch: PEDL10001 (別売)

仕様	MB15	MB30
実効出力	15Wrms	30Wrms
スピーカー	8" x 1	10" x 1
サイズ(mm)	390W x 380H x 240D4	40W x 410H x 260D
重量 (Kg)	12	14.8

MB60

MB SERIES 60W 2ch 1x12 BASS COMBO

FUNCTIONS

Front Panel: INPUT JACK, CD INPUT JACK, HEADPHONE JACK, CH SELECT SW
modern CH: ACTIVE/PASSIVE SW, VOLUME, BASS, MID FREQ, MIDDLE, TREBLE, COMPRESSOR (ON/OFF SW)
classic CH: GAIN, BOOST SW, VOLUME, BASS, VOICE SHIFT (1/2/3), VOICE, TREBLE
Rear Panel: XLR (PRE & POST) JACK, FX LOOP JACK
Footswitch: PEDL10001 (付属)

MB150

MB SERIES 150W 2ch 1x15 BASS COMBO

FUNCTIONS

Front Panel: INPUT JACK, CD INPUT JACK, HEADPHONE JACK, CH SELECT SW
modern CH: ACTIVE/PASSIVE SW, VOLUME, BASS, MID FREQ, MIDDLE, TREBLE, COMPRESSOR (ON/OFF SW)
classic CH: GAIN, BOOST SW, VOLUME, BASS, VOICE SHIFT (1/2/3), VOICE, TREBLE
Rear Panel: XLR (PRE & POST) JACK, FX LOOP JACK
Footswitch: PEDL10001 (付属)

仕様	MB60	MB150
プリ管	ECC83 x 1	ECC83 x 1
実効出力	60Wrms1	50Wrms
スピーカー	12" x 1	15" x 1
サイズ(mm)	535W x 505H x 325D5	80W x 585H x 355D
重量 (Kg)	23	30

MB Bass Series

MB4210

このサイズにしてこのサウンド。450W、2×12"スピーカー&HFホーンを搭載、「Modern」と「Classic」2つのチャンネルに独立したEQ回路を用意しました。そして、チャンネルをブレンドできることがMB4210の大きな特長です。Speakon®ジャックも搭載したあらゆる音楽シーンにマッチするベース・アンプのモンスターです。



仕様	MBC115	MBC410	MBC810
スピーカー	15" x 1	10" x 4	10" x 8
許容入力	300W	600W	1200W
インピーダンス	4Ω	4Ω	4Ω
サイズ(mm)	630W x 635H x 410D	630W x 720H x 410D	630W x 1250H x 410D
重量 (Kg)	32	42.5	29.5

MB4410

450W、4x10"スピーカー&HFホーン付きコンボ。MB4210に比べより低域の効いたふくよかなサウンドをクリエイトします。いかにもベースらしいトーンのコンボをお探しのプレイヤーに最適なMBベース・コンボの最高峰。



MBC115

← 300Wスピーカー・キャビネット。1x15"スピーカー、HFホーン付き



MBC410

↑ 600Wスピーカー・キャビネット。4x10"スピーカー、HFホーン付き

MBC810

↑ 1200Wスピーカー・キャビネット8x10"スピーカー、HFホーン付き ↓



仕様	MB4210	MB4410	MB450H
プリ管	ECC83 x 1	ECC83 x 1	ECC83 x 1
実効出力	450Wrms	450Wrms	450Wrms
スピーカー	2 x 10"	4 x 10"	—
サイズ(mm)	630W x 535H x 280D	630W x 720H x 410D	630W x 220H x 235D
重量 (Kg)	33	51	15

※上記3モデルの実効出力は2Ωで使用した場合です。

MB450H

↕ ↓ 450Wのヘッド・アンプ。2チャンネル仕様で、それぞれに独立したEQを採用。クラシック・チャンネルにはECC83バルブとブースト・スイッチを搭載。クラシック/モダン・チャンネルのミックス仕様も可能です。組み合わせるスピーカー・キャビネットにより好みのサウンドが選べます。



MB4210

MB SERIES 450W 2ch 2x10
BASS COMBO

FUNCTIONS

Front Panel: INPUT JACK, CD INPUT JACK, HEADPHONE JACK, CH SELECT SW
modern CH: ACTIVE/PASSIVE SW, VOLUME, BASS, MID FREQ, MIDDLE, TREBLE, COMPRESSOR (ON/OFF SW)
classic CH: GAIN, BOOST SW, VOLUME, BASS, VOICE SHIFT (1/2/3), VOICE, TREBLE
modern/classic ch共通: BLEND SW, BLEND (MOD / CLAS), VOLUME, MASTER VOLUME
Rear Panel: XLR (PRE & POST) JACK, FX LOOP JACK
Footswitch: PEDL90005 (付属)



MB4410

MB SERIES 450W 2ch 4x10
BASS COMBO

FUNCTIONS

Front Panel: INPUT JACK, CD INPUT JACK, HEADPHONE JACK, CH SELECT SW
modern CH: ACTIVE/PASSIVE SW, VOLUME, BASS, MID FREQ, MIDDLE, TREBLE, COMPRESSOR (ON/OFF SW)
classic CH: GAIN, BOOST SW, VOLUME, BASS, VOICE SHIFT (1/2/3), VOICE, TREBLE
modern/classic ch共通: BLEND SW, BLEND (MOD / CLAS), VOLUME, MASTER VOLUME
Rear Panel: XLR (PRE & POST) JACK, FX LOOP JACK
Footswitch: PEDL90005 (付属)



MB450H

MB SERIES 450W 2ch
BASS AMP HEAD

FUNCTIONS

Front Panel: INPUT JACK, CD INPUT JACK, HEADPHONE JACK, CH SELECT SW
modern CH: ACTIVE/PASSIVE SW, VOLUME, BASS, MID FREQ, MIDDLE, TREBLE, COMPRESSOR (ON/OFF SW)
classic CH: GAIN, BOOST SW, VOLUME, BASS, VOICE SHIFT (1/2/3), VOICE, TREBLE
modern/classic ch共通: BLEND SW, BLEND (MOD / CLAS), VOLUME, MASTER VOLUME
Rear Panel: XLR (PRE & POST) JACK, FX LOOP JACK
Footswitch: PEDL90005 (付属)

EFFECTS Pedals

マーシャルの技術陣が、最高のサウンドを追究したコンパクト・エフェクター・シリーズに、空間系デジタル・エフェクター3機種が新登場。ソリッド・メタル製の堅牢なボディ、それぞれに6種類のエフェクトを内蔵し、空間の拡がりを倍増させるステレオ仕様です。また既に定評を得ている歪み系として、ズ太いオーバー・ドライブ「ガバナー・プラス」、激歪みの「ジャックハンマー」、艶やかな歪みの「ブルースブレイカー」がラインナップ。また、ユニークな音世界を生み出す「ビブラトレム」や、クリアなロング・サスティーンを演出する「コンプレッサー」など、全8機種が勢揃いしました。あなたのマーシャル・ワールドをさらに充実させてください。



REGENERATOR

コーラス、フランジャー、フェイザーの、代表的揺らぎ系サウンドから6種類の異なるサウンドを創造。SPEED、DEPTH、REGENという3つのパラメーターでサウンドをコントロールします。

- ビンテージ・コーラス：クラシックなコーラス。メロウなスイープから高速なビブラートまで、幅広い効果をサウンドに加えます。
- マルチ・コーラス：かつて“スーパーバイブ・ペダル”で定評を得たユニークなコーラス。シンプルなスイープから複雑なアンサンブル・サウンドまでを実現します。
- ビンテージ・フランジャー：サウンドに深く入り込んで極端なデチューンをしたり、リジネーションのレベルを上げてサウンド全体に広がせたり、レベルを抑えてナチュラルなフランジ効果を実現します。
- フェイザー：豊かなフェイジング効果でエネルギーあふれるサウンドを実現、波のように流れるトーンを生み出します。
- ステップ・フェイザー：フェイザー・モードにクリスタルのステップのような効果を加えて、スイープの質感に変化をつけます。
- ビンテージ・バイブ：渦巻くようなビンテージ・バイブ・モードで気持ち良いバイブレーションを実現。

REFLECTOR

6種類のリバーブが生み出す多彩な3次元空間、ステレオ・アウトプットによるワイドな広がり、REVERB TIME、DAMPING、LEVELによるコントロールが可能です。

- ホール：大きく豊かなリバーブで、トーンがサウンドに飲み込まれることなく、演奏にスムーズな広がりを出します。
- プレート：高品質のステレオ・プレート・リバーブのサウンドを再現、トーンに空間とプレゼンスをもたらします。
- ルーム：小さいリバーブで、さりげないプレゼンスをサウンドにまよわせます。
- スプリング1：独特のバースとアンビエンスを持つスプリング・リバーブのクラシックなサウンドを再現します。
- スプリング2：（スプリング1）のスプリング・サウンドにデジタル・ペダルでしか実現できない豊かなリバーブを加え、新旧を絶妙に組み合わせます。
- リバーブ・モード：リバーブ・モードは、ノートがすぐそばまで逆流してから、また遠くへ消えていくような幻想的な質感を生み出します。



ECHOHEAD

最大ディレイ・タイム2000ms、6種類のディレイをフューチャーしたステレオ・ディレイ。DELAY TIME、FEEDBACK、LEVELによるコントロールが可能です。

- ハイファイ：透過したサウンドで入力のリビートを発生させる安定したディレイ・ライン。
- アナログ：フィルターがエコーを形成し、微妙なトーンを加えて、古いアナログのディレイ回路を流れるギター・サウンドを再現します。
- テープ・エコー：テープ・ディレイの狭い帯域幅と不安定な回転音からヒントを得た、ざらざらした感じのエコー。不規則に鼓動する古いモーターが、ダークな質感のディレイに温かく有機的なコーラスを加えます。
- マルチ・タップ：複数のエコーが鼓動し、濃厚なリズムック・サウンドを実現します。
- リバーブ：サウンドを逆に吸い出すことによって一連の幻想的なリビートを発生させ、サイケデリックな質感を生み出します。
- モード・フィルター：サウンド全体に広がり、ディレイ・タイムとシンクしたモジュレーティング・フィルターが、エコーに動きと深みを加えます。



THE GUV'NOR PLUS

高い評価を得たオリジナル・ガバナーのリッチなトーンはそのままに、さらに強力になったゲイン・コントロールと、ズ太いサウンドを生み出すディープ・コントロールを装備。

3ウェイ・イコライザーに加え、“ディープ”を搭載。これを上げることで従来のトーン・コントロールでは真似できないような、濁りのないタイトなボトムが加わり、豊かで拡がりのあるローエンドを実現します。

THE JACKHAMMER

JCM800のクランチから、ウルトラ・ディストーションまでカバーする最強の歪みを実現。ミッド・レンジに劇的な変化を与えるコンツァー・コントロールにより、多彩な音作りが可能。

JCM800のような、キレとダイナミクスのある歪みの“オーバードライブ”のようなフルテンのハイ・ゲイン・コンプレッション・トーンが得られる“ディストーション”の、2つのモードを搭載。コンツァー・コントロールでは、カットする周波数が選べるため“ドンシャリ”サウンドをはじめ、あらゆる音作りが可能です。



THE BLUESBREAKER II

クリーン・ブーストとウォーム・ドライブの、2つのモードを装備。同名のオールド・バルブ・アンプの特徴である、コンプレッションとハーモニクスをリアルにシミュレートしたリッチなサスティーンが絶妙。

ブースト・モードでは、ドライブとトーン回路をバイパス、アンプの前段に直接働きかけることでナチュラルなオーバードライブが得られます。ブルース・モードでは、クリーン・セッティングのアンプでも最高に滑らかでブルーギーなオーバードライブが得られますが、すでにディストーションがかかっているアンプで使うと、さらにマーシャルらしさを高めることが可能です。

THE VIBRATREM

グルービーなトレモロと、サイケデリックなビブラート。揺らぎの幅をコントロールするシェイプ・コントロールを搭載。このエフェクターでなければ不可能な音世界を創り出します。

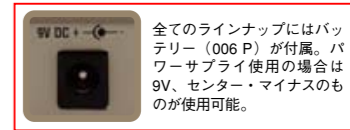
ステレオ仕様のトレモロ・モードは、ビンテージ・アンプのようにシグナルがナチュラルに増減するタイプの設計がなされています。ビブラート・モードは、エフェクト・シグナルのフェイズをシフトすることで、ある種のビンテージ・アンプで得られるようなビブラートをシミュレートします。



THE COMPRESSOR

スムーズなレガートを實現する粒ぞろいのサウンド。極めてクリアなロング・サスティーンと艶やかなサウンドは、ソロはもちろん、ファンキーなカッティングにも最適。

エンファシス・コントロールにより、コンプレッションをかけたい周波数を選ぶことができます。これにより、タイトからブライトまでバリエーションに富んだ音作りが可能になりました。バンドのアンサンブルに埋もれない音質、馴染む音質、突出する音質など、自由自在に演出できます。



全てのラインナップにはバッテリー（006 P）が付属。パワーサプライ使用の場合は9V、センター・マイナスのものを使用可能。

RG-1
COMPACT STEREO DIGITAL MODULATION PEDAL

FUNCTIONS

MODE SWITCH (V CHORUS, M CHORUS, FLANGER, PHASER, STEP PHASER, V VIBE)
SPEED CONTROLS
DEPTH CONTROLS
REGEN CONTROL

1. V CHORUS 2. M CHORUS 3. FLANGER 4. PHASER 5. STEP PHASER 6. V VIBE

RF-1
COMPACT STEREO DIGITAL REVERB PEDAL

FUNCTIONS

MODE SWITCH (HALL, PLATE, ROOM, SPRING 1, SPRING 2, REVERSE)
REVERB TIME CONTROLS
DAMPING CONTROLS
LEVEL CONTROL

1. HALL 2. PLATE 3. ROOM 4. SPRING 1 5. SPRING 2 6. REVERSE

EH-1
COMPACT STEREO DIGITAL DELAY PEDAL

FUNCTIONS

MODE SWITCH (HIFI, ANALOGUE, TAPE ECHO, MULTI TAP, REVERSE, MOD FILTER)
DELAY TIME CONTROLS
FEEDBACK CONTROLS
LEVEL CONTROL

1. HIFI 2. ANALOGUE 3. TAPE ECHO 4. MULTI TAP 5. REVERSE 6. MOD FILTER

GV-2
COMPACT OVERDRIVE PEDAL

FUNCTIONS

GAIN CONTROL
DEEP & BASS CONTROLS
MID & TREBLE TONE CONTROLS
VOLUME CONTROL

JH-1
COMPACT DISTORTION PEDAL

FUNCTIONS

MODE SWITCH (CRUNCH / LEAD)
GAIN & VOLUME CONTROLS
BASS & TREBLE CONTROLS
CONTOUR & FREQUENCY CONTROLS

BB-2
COMPACT CLASSIC OVERDRIVE PEDAL

FUNCTIONS

MODE SWITCH (BOOST / BLUES)
DRIVE CONTROL
TONE CONTROL
VOLUME CONTROL

VT-1
COMPACT STEREO TREMOLO & VIBRATO PEDAL

FUNCTIONS

MODE SWITCH (VIB / TREM)
SPEED CONTROL
DEPTH CONTROL
SHAPE CONTROL

ED-1
COMPACT COMPRESSOR PEDAL

FUNCTIONS

EMPHASIS CONTROL
VOLUME CONTROL
ATTACK CONTROL
COMPRESSION CONTROL

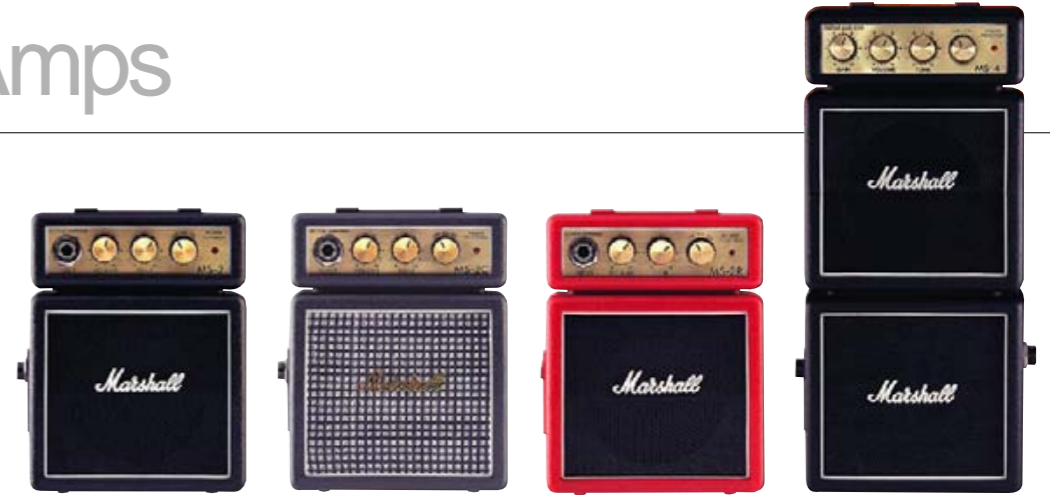
Goods



Micro Amps

極小のボディにマーシャルのエンブレムを抱いた、超ミニ・スタック。そのサイズからは想像もできないラウドなサウンドが飛び出します。

AC Adaptor: MS2/MS4 はすべて、ACアダプターと9Vバッテリーの両方で使用できます。
*DC INはすべてセンター・マイナスです。



- ACCS00038
① TRUCKER CAP
ロゴは刺繍仕様。
- ACCS00039
② BEANIE CAP
ロゴは刺繍仕様。
- ACCS00013
③ BASEBALL CAP
ロゴは刺繍仕様。
- SHRT00069/00070
④ T-SHIRT (M / L)
ロゴは刺繍仕様。
- JCKT00022/00023
⑤ FLEECE (M / L)
ロゴは刺繍仕様。

- SHRT00082/00083
⑥ POLO SHIRT (M / L)
ロゴは刺繍仕様。
- JCKT00025/00026
⑦ GAS STATION JACKET (M / L)
ロゴは刺繍仕様。
- SHRT00090
⑧ LADIES CREW-NECK T-SHIRT (M)
ロゴは刺繍仕様。
- SHRT00094
⑨ LADIES VEST (M)
ロゴは刺繍仕様。
- SHRT00126
⑩ SWIRL T-SHIRT (M)

- SHRT00001/00002
⑪ HOODY (M / L)
ロゴは刺繍仕様。
- SHRT00098/00099
⑫ WORK SHIRT (M / L)
ロゴは刺繍仕様。
- SHRT00134/00135
⑬ 1962 T-SHIRT (M / L)
- SHRT00131/00132
⑭ BLUESBREAKER T-SHIRT (M / L)
- SHRT00128/00129
⑮ DISTRESSED T-SHIRT (M / L)

- SHRT00137/00138
⑯ BLACK AMP T-SHIRT (M / L)
- JOGS00007/00008
⑰ JOGGING BOTTOMS (M / L)
ロゴは刺繍仕様。
- ACCS00056
⑱ ROADIE TOWEL
- ACCS00037
⑲ SWEAT BANDS
ロゴは刺繍仕様。

- ACCS00035
⑳ WATCH
- ACCS00030
㉑ MINI MAGLITE TORCH
- ACCS00031
㉒ VICTORINOX 'CLIMBER' KNIFE
- ACCS00045
㉓ GIG BAG
- LHALJMBK
㉔ BOOK - JIM MARSHALL THE FATHER OF LOUD

- ACCS00043
㉕ MOUSE PAD
(マウスは付属していません)
- ACCS00032
㉖ ZIPPO BRASS LIGHTER
- COVR00049
㉗ 100W VALVE HEAD BLACK COVER
- COVR00050
㉘ 4x12 ANGLED CABINET BLACK COVER (1960A, 1960AV, 1960AX)
- COVR00051
㉙ 4x12 BASE CABINET BLACK COVER (1960B, 1960BV, 1960BX)

MS-2/2C/2R
PORTABLE GUITAR AMP (HALF STACK)

FUNCTIONS
Input: INPUT
Functions: VOLUME, TONE, OFF/ON/OD SELECT SW, INDICATOR, HEADPHONE/LINE OUT, DC IN (+9V)
Size: 11W x 14H x 6Dcm

MS-4
PORTABLE GUITAR AMP (FULL STACK)

FUNCTIONS
Input: INPUT
Functions: GAIN, VOLUME, TONE, OFF/ON/OD SELECT SW, INDICATOR, HEADPHONE/LINE OUT, DC IN (+9V)
Size: 11W x 25H x 6Dcm